

運 営
— 2019年度 —

1. 技 術 部

(1) 野菜・花卉部門

年間の実習に沿った作付け計画を設定し、栽培の作付け体系を充実させることで安定生産を達成することができたと思われる。

実習について、昨年に続き3回生実習では、露地の畑(12㎡/3人)を作物栽培の実践の場として学生が管理しており、定植以降の整枝・摘果・灌水・除草・収穫などの作業を、実習時間及び実習時間外の平日でも学生自身が判断して随時行っている。この実習ではコマツナ・ホウレンソウ・葉ダイコン・リーフレタス・トマト・ナス・ピーマン・シシトウ・エダマメ・トウモロコシ・インゲンマメ・モロヘイヤ・シソ・オクラ・ササゲなどを栽培し、収穫した作物も各自で料理して食するよう指導した。

作物の作付けは緑肥栽培を組み入れた輪作体系を組んで土地の有効利用に努めた。景観作物栽培実習の一環として、10aのヒマワリ畑の播種・定植を学生と共にしている。土作りとして馬術部から‘馬糞’、果樹部より‘剪定木のチップ’、津高牧場より‘牛糞’の提供を受け堆肥作りも継続している。

当農場ではグッドジョブ支援センター(障がい者雇用)のスタッフを、野菜花卉部門を中心に受け入れている。グッドジョブ支援センタースタッフの受け入れは12年目となり、野菜の栽培管理、出荷調整作業、直売所での販売業務を担当し、農場にとって必要不可欠な人材となっている。

地域との関わりとしては、農場直売所での販売のほか、学内生協や天満屋百貨店での委託販売も行っている。サツマイモの収穫体験や一般参加を募っている岡山大学公開講座(育てて食べよう美味しい夏野菜講座)も引き続き行っている。ともに岡山大学生涯学習事業として定着し好評である。

今年度は5月に元号が平成から令和へと変わり、5月の連休が10日間と長かったため、農学部教職員家族限定でイチゴ狩り体験を行い好評であった。

また中四国農場協議会が12月12日、13日に岡山大学農学部で開催され、津島農場では建築足場資材を利用したビニールハウス及び複合環境制御装置に

よるイチゴ栽培の見学があった。

1) 果菜類

2018年4月にイチゴ用のビニールハウス(350㎡)が新しく完成した。灌水システム、換気扇、暖房機、二酸化炭素発生装置を用いた複合環境制御となっている。そこで「らくちん方式・高設式養液栽培」によるイチゴ栽培を行なった。本年は2品種、‘紅ほっぺ’‘ゆめのか’を栽培した。イチゴの採苗と挿し苗は7月24日(2018年)に3回生実習で行った。定植は9月25日(2018年)に中四国農場体験実習で行った。その後の栽培管理は2回生実習で2月初旬まで行った。初収穫は1月6日(2019年)であり6月27日(2019年)まで収穫した。2月以降(2019年)のイチゴの管理作業は、グッドジョブ支援センターのスタッフが中心となって行った。イチゴ苗の生育が悪く、定植後の初期生育はかなり遅れた。例年‘女峰’を栽培し11月中旬より夜中に電照を3時間点灯していた。‘紅ほっぺ’‘ゆめのか’も同様に電照を3時間点灯したが、2月中旬には葉柄が伸び、葉が大きくなり4月頃のような株張りとなった次年度‘紅ほっぺ’‘ゆめのか’の電照について検討、電照時間等の調整が必要である。

トマト栽培は汎用温室B棟(440㎡)で12cmポットによる栽培を行い、大塚A処方の培養液栽培管理とした。ピートモスとバーミキュライトを混和したものを培養土とし、春作は‘桃太郎ファイト’‘シンディースイート’‘エコスイート’の3品種を作付した。12月28日(2018年)に播種し、1月30日に35穴のすくすくトレーに移植し温床に入れて管理した。更に2月15日に12cmポットへ移植し温室内の暖房機夜温設定を10℃として管理した。春作は7月24日(2019年)まで収穫を行った。‘桃太郎ファイト’は8段果房まで収穫した。7月に入りコナジラミが大発生した。

秋作は‘桃太郎ファイト’‘シンディースイート’‘エコスイート’‘ルネッサンス’の4品種を栽培し

た。7月30日に200穴プラグに播種し、8月20日に12cmポットへ定植した。10月10日に‘エコスイート’、10月25日に‘シンディースイート’11月5日に‘桃太郎ファイト’‘ルネッサンス’の初収穫を行い、2月1日（2020年）まで収穫した。

汎用温室A棟では60cmプランターを利用したキュウリの半促成栽培を行った。ピートモスとバーミキュライトを混和したものを培養土とし、大塚A処方の培養液栽培管理とした。4月11日に播種、4月28日にプランターへ定植した。5月27日から7月24日まで収穫した。品種は‘フリーダムハウス1号’を選定した。

プランター栽培では、排水穴が根詰まりし、水が適切に抜けずに根腐れとなる株があった。

ナスは1月21日に台木‘耐病VF’を播種、1月28日に穂木となる‘長者’‘千両2号’‘くろわし’‘庄屋大長’‘ホワイトベル’‘衣川ナス’‘鶴見ナス’の7品種を播種した。‘衣川ナス’‘鶴見ナス’は岡山県の伝統野菜品種である。3月18日に割り接ぎを行ない、4月22日に学生実習で畝立て、定植した。学生実習で整枝、誘引を行い3本仕立てとした。6月7日から収穫が始まった。8月上旬に切り戻しを行い、11月6日まで収穫した。

ピーマン、トウガラシ類は7品種‘京みどり’‘伏見甘長’‘甘とう美人’‘鷹のツメ’‘高濃カリフォルニアワンダー’‘ジャンボ’‘メガホン’の栽培を行った。3月13日に播種、4月5日に9cmポットに移植し、5月13日に学生実習で畝立て、定植を行った。4本仕立てとし、6月10日から11月6日まで収穫することができた。8月中旬より白絹病が発生し始めた為、薬剤散布を行ったが、病気の発生は抑えることが出来なかった。

スイカの1作目は3月1日に穂木‘夏武輝’‘ピノガール’‘オレンジヴォーノ’‘シュガームーン’‘豪夏’を播種、3月7日に台木‘FRきずな（かんぴょう）’を播種した。3月18日に呼び接ぎを行い4月15日に2回生実習でキャップを被せて定植した。‘ピノガール’は小玉のマイクロシードスイカで皮が薄く、種は噛んでも気にならない程度のサイズで、甘みも強い品種であった。栽培後半は放任栽培でも着果が多かった。2作目は3月27日に穂木‘秀山’‘ブラックボール’‘紅まくら’を播種し、4月1日に

台木を播種した。4月9日に3回生実習で呼び接ぎを行い、5月7日に定植を行った。2作目では、定植後に肥料袋を利用して行灯を作り、定植苗の生育促進を図った。4m幅平畝の西側に定植し4本整枝、2果獲りとした。3回生実習主体で定植から敷き藁・整枝、摘果を行った。

カボチャは4月5日に播種し、5月13日に学生実習で定植を行った。‘はやと’‘打木早生赤栗’‘ロロン’‘えびす’‘ほっこり133’‘バターナッツ’‘夢見’‘つるなしやっこ’‘くりまさる’の9品種を栽培した。4m幅平畝の中心に定植し4本整枝とした。摘心、玉返し、収穫等も学生実習で行った。

その他の瓜類として、‘冬瓜’‘青大長縹瓜’‘金瓜’の栽培を行い、直売所でも好評であった。

ハウスメロンの栽培では‘パパイヤ’‘ラブコール’の2品種を2月14日に播種し4月4日にシルバーマルチを張って定植を行った。定植直後は有孔ポリエチレンでトンネル被覆をした。整枝、摘果などの管理は学生実習で行った。5月21日に学生実習で‘パパイヤ’は2本仕立て一株で4個着果、‘ラブコール’は2本仕立て一株で2個着果とした。孫蔓の整枝では‘パパイヤ’はあそび蔓を残す整枝、‘ラブコール’はあそび蔓を残さずに全ての孫蔓を取り除いた。‘パパイヤ’の収穫適期は受粉日より40日～45日。‘ラブコール’の収穫適期は50日～55日である。‘パパイヤ’は6月27日から‘ラブコール’は7月9日から収穫した。両品種とも2kg前後の大玉となり、灌水管理が課題として残った。

オクラは‘グリーンソード’を播種した。株間36cm、2条定植で、1穴に3粒播種とした。密植で生育が抑えられ、休日後に出荷できない程度に大きく成長オクラは減少した。

2) 葉菜類

軟弱野菜のハウレンソウ・コマツナ・ミズナ・チンゲンサイ等は集約栽培を行っており、各作目とも春と秋に複数回作付けを行った。昨年度と同様に露地栽培を主体とし、全てマルチ栽培で行った。収量と作付けの回数はコマツナ・ハウレンソウが最も多く、特にハウレンソウは直売所での販売が好評なため、他作目よりも重視して栽培を行った。

ハウレンソウは、バト病R1～8に抵抗性のある‘ミ

ストラル’を主に栽培を行い、加えて出荷期間をより長く確保するため、晩抽性品種の‘晩抽サマースカイ’、耐暑性のある‘ジャスティス’、べと病に対してより抵抗性を持つ‘ミラージュ’等も栽培を行った。春作においては生育に問題は無く、晩抽性品種の導入によって出荷期間も長く確保でき、非常に好評であった。一方、秋作においては、高温の影響で発芽不良となる作も見られたが概ね生育は良好で、11月以降も比較的気温の高い暖冬の影響もあって生育が鈍化することなく、順調に収穫を行うことができた。

チンゲンサイは、従来栽培している‘青武’に加えて、出荷期間をより長く確保するため、耐暑性のある‘夏帝’の栽培を行った。‘夏帝’の導入によって、‘青武’では抽台の可能性があった3月下旬以降の播種が可能となり、従来と比べて良質のチンゲンサイをより長期に渡って出荷できるようになった。

レタスは、結球タイプの‘シスコ’‘ディアマンテ’‘エクセル’‘サウザー’、非結球タイプの‘レッドウェーブ’‘晩抽レッドファイヤー’‘グリーンウェーブ’‘グリーンジャケット’、ロメインレタスの‘コスレタス’、サラダ菜の‘岡山サラダ菜’の栽培を行った。春・秋作共に定期的に病害虫防除を行ったことで欠株はほぼ見られず、各品種の特性を理解し、時期に応じた品種を使用することで、例年より長期に渡って栽培・出荷を行うことができた。

ハクサイは、近年べと病が多発傾向にあることから、従来栽培している‘無双’‘黄ごころ80’‘黄ごころ90’に加えて、べと病耐病性に優れる‘晴黄60’‘晴黄85’の作付けを行った。芯腐れ病等の生理障害が多発傾向にあるため、今年度は微量元素の施用の他、窒素肥効が過多とならないよう例年より窒素施肥量を減らし、且つ有機肥料やウレアホルム等の緩効性肥料を主体に栽培する施肥設計に変更した。べと病をはじめ各病害対策として、農薬による防除を定期的に行い、罹病株の早期除去を行った。その結果、例年見られていた生理障害はほぼ見られなくなり、べと病に関しては、耐病性に優れる‘晴黄60’‘晴黄85’で発生が特に抑えられる傾向が見られ、良質なハクサイとなった。また、12月23日にフィールド基礎実習にて、霜害予防で頭部の結束を行ったことで、出荷をより長期に渡って行うこと

ができた。ただ、今年度は暖冬の影響でハクサイそのものの需要が低迷し、思うように出荷を進めることができなかった。次年度においては、生理障害の発生を抑えるため、肥料の種類や施肥量などに引き続き注意し栽培を行うと共に、在圃性を重視した作付けを行いたい。

カンランは春と秋の年2回作付けを行った。春作は抽台が早く生じるため収穫適期が短く、腐敗も発生しやすいことから栽培面積を少なくし、収穫期が比較的長く、腐敗が起きにくい秋作を主体に栽培を行っている。春作は、例年栽培している‘グリーンボール’‘彩峰’‘金系201号’の他、試験的に‘ジャンヌ’‘サトウくん’を導入し、収穫が順次行えるよう播種日の間隔と各品種の特性に注意し栽培を行った。生育はいずれも良好であり、適宜防除にも努めたことで病害虫による被害も見られず、良質なカンランを順次収穫することができた。秋作は、‘初秋’‘おきな’‘湖月SP’‘湖水’の4品種を栽培した。秋作は夏季に播種となるため、例年は発芽不良が多発傾向にあったが、今年度は発芽するまで屋内で管理したことで発芽は良好であった。定植後、必要に応じて寒冷紗で遮光したことで夏季の高温でも欠株はほとんど無く、旺盛な生育となった。また、今年度は暖冬の影響もあって、11月以降も生育が緩慢とならず、全ての区で大玉となる傾向が見られた。次年度においても、引き続き良質なカンランとなるよう、肥培管理の更なる改善や新規品種の導入等に努めていきたい。また、昨秋に定植を行い、翌春の2月収穫となる作付けも行っている。(例2019年8月20播種、2020年2月19日収穫)昨年度は品種の選抜を兼ねて、晩生品種の‘彩音’‘夢舞台’‘夢ごろも’‘冬藍’‘YR冬親方’‘YR銀次郎’計6品種の作付けを行った。いずれの品種も生育は良好で、大玉のカンランを収穫することができたが、‘冬藍’以外の品種の収穫時期がほぼ同じであり、品種間によって見た目・食味の差が大きく、販売所での売れ行きに差が生じた。その為、次年度分については、収穫時期の違いや販売所での売れ行きを考慮し、‘冬藍’‘彩音’‘夢ごろも’の3品種を選定した。今後も、品種比較を更に行い、品種特性を十分把握し作付けを行っていきたい。

ブロッコリーは、春作は収穫適期が短いため、主

に秋作主体で栽培を行っている。品種は、頂花蕾と腋芽が収穫可能な‘ハイツSP’、腋芽の伸長が緩慢となる冬季収穫用として、頂花蕾専用の‘グリーンパラソル’‘キャッスル’の3品種の作付けを行った。夏季に播種となるため、例年は発芽不良が目立つ傾向にあったが、今年度は発芽するまで屋内で管理したことで発芽不良は無く、定植後も生育は旺盛で、良質なブロッコリーを収穫することができた。頂花蕾専用の2品種について、収穫時期が異なるように播種を行ったが、暖冬の影響で生育が早まったことで収穫が早まり、ほぼ同時期に収穫を行うこととなった。次年度では収穫が順次進むよう心掛けたい。また、ブロッコリーは上述したカンランと同様、昨秋に定植を行い、翌春の2月収穫となる作付けを行っている。昨年度は品種の選抜を兼ねて、晩生品種の‘グリーンビューティー’‘エンデバーSP’‘ともえ’‘みよ緑3号’（例2018年8月17日播種、2019年2月21日収穫）の計4品種の作付けを行った。いずれの品種も生育は良好で、‘グリーンビューティー’は2018年度中に収穫が終了し、残り3品種については2月下旬から収穫開始となった。ブロッコリーが販売所で好評で、出荷に大きな問題はなかったが‘ともえ’‘みよ緑3号’は収穫時期が同じであったため、今年度定植分（2020年早春収穫分）については、収穫時期に差が生じるよう、‘グリーンビューティー’‘エンデバーSP’‘チャレンジャー’（例2019年8月20日播種、2020年1月19日収穫）の3品種の作付けを行った。適期に定植を行ったことや暖冬の影響もあり、いずれも生育は良好で、当初の計画通り品種ごとに順次収穫を行った。次年度においても品種特性を十分把握し作付けを行っていききたい。

カリフラワーは、秋作のみ栽培を行っている。品種は、従来栽培している‘スノークラウン’に加え、包葉性の強い‘ホワイトキャンディ’‘スノーニューダイヤ’、紫カリフラワーの‘バイオレットクイン’の計4品種の作付けを行った。暖冬の影響により定植後の生育はいずれも良好であった。包葉性の強い品種を導入したことで花蕾が黄化することが無く、収穫サイズも大きく販売所で大変好評であった。次年度も良質なカリフラワーが出荷できるよう、引き続き新規品種について検討を行っていききたい。また、

上述したカンラン・ブロッコリーと同様、昨秋に定植・翌春2月収穫となる作付けとして、試験的に‘スパイラルロマネスコ’（例2019年8月24播種、2020年2月25日収穫）の栽培を行った。生育に問題は無く、予定通り2月から収穫ができ、洋野菜の人気と見た目の奇抜さも相まって販売所でも好評であった。

セルリーは、ハウス栽培で‘トップセラー’の作付けを行った。セルリーは以前、生育後半に窒素欠乏による黄化とホウ素欠乏による葉柄の亀裂・褐変化が多発したため、緩効性肥料と微量要素の施用を重視した栽培を行っている。播種は5月末から行い、時期をずらして順次定植を行った。上述した肥培管理の結果、ホウ素欠乏は全く見られず、緩効性肥料の施用によって在圃場性も高まり、12月から2月末まで安定して順次収穫を行うことができた。次年度においても引き続き肥培管理に重点を置いて栽培を行いたい。

ネギは、‘九条太’‘赤ひげ’、リーキの‘ボワロ’を栽培した。播種は4月5日から行った。‘九条太’は細ネギ・中ネギとしても利用しており、6月6日から6月21日までは細ネギとして収穫を行った。中ネギはエダマメを収穫後のマルチフィルム畦を利用し、7月8日から8月20日にかけて定植を行い、8月26日から12月19日まで収穫を行った。‘九条太’‘赤ひげ’‘リーキ’の本畑定植は8月6日と8月8日に行い、収穫は12月23日から行った。以前、本畑ネギではベト病や軟腐病等の多くの病害が多発していたが、今作ではトリフミン50倍液の根部浸漬による苗の殺菌のほか、土寄せ時にオリゼメート粒剤の散布、生育期の適宜薬剤防除や圃場内の明渠作成等を行ったことで、病害虫による被害は見られず、品質・収量ともに良好なネギとなった。次年度においても引き続き同様の管理方法で良質なネギとなるよう心がけていきたい。

3) 根菜類

カンショは‘ベニアズマ’と‘コガネセンガン’の2品種を栽培した。5月20日と5月27日に‘ベニアズマ’を2000本、‘コガネセンガン’500本ずつをフィールド基礎実習にて定植し、6月14日と6月20日に本畑から採取した苗の定植を行った。

例年多く見られているつる割れ病対策として、前年に引き続き、苗は定植直前にベンレート水和剤による苗基部浸漬処理を行い、定植後は適宜巡回を通して罹病株の除去と補植を行った。また、昨年度はイモの内部褐変症が見られたため、例年と比べて施肥窒素量を減らし、微量要素を施用した栽培を行った。その結果、つる割れ病による欠株は減少傾向となり、イモのサイズが若干小ぶりになったものの、内部褐変症はほとんど見られず良質なカンショとなった。‘ベニアズマ’は幼稚園などのイモ掘りと販売に供し、‘コガネセンガン’は「おお岡大焼酎」の原料に供し共に好評を得た。次年度においても同様の管理方法で作付けを行いたい。

サトイモは、‘石川早生’‘エグイモ’‘赤芽大吉’‘タケノコイモ’の4品種を栽培した。本圃への植え付けは4月12日に行った。また、3月15日と3月28日に種イモをポリポットに植え付け、ハウス内で芽出した苗を5月14日にフィールド基礎実習で定植も行った。種イモは、芋の分割が極力少なくなるよう子芋を主に使用したこと、発芽不良の箇所は芽出し苗で補植を行ったことで欠株はほとんど見られなかった。土寄せは6月20日に行い、生育に合わせて適宜追肥を行った。また、夏季は畦間灌水を随時行ったことで生育は非常に旺盛であった。収穫は必要分を随時掘り出して出荷調整・販売を行った。生育が旺盛であったことからイモの肥大も良く増収傾向となった。次年度においても同様の管理で栽培を行いたい。

バレイショは、春作は‘ダンシャク’‘メークイン’‘デジマ’‘アンデス’‘キタカアリ’‘ニシユタカ’の6品種を栽培した。湿害対策として全て高畦栽培とし、3月6日に植え付けを行い、植えつける際は遅霜対策として深さ20cmで植え付けを行った。また、圃場に明渠を設けたことで排水性が良好となり、欠株が少なく成育も良好となった。‘ダンシャク’と‘メークイン’は4月22日に2芽となるよう芽かきを行い、4月23日に全品種土寄せを行った。収穫は6月4日と6月17日にフィールド基礎実習にて行った。いずれの品種也多収傾向にあった。秋作は‘デジマ’‘アンデス’‘キタカアリ’‘ニシユタカ’の4品種を栽培した。こちらも高畦栽培とし、9月12日に植え付けを行った。昨年度は、植

え付け直後の雨天続きの影響で種イモの多くが腐敗し、発芽不良が多発した結果、収量も大きく減少する傾向となった。昨年度の結果を踏まえ、今年度においては、種イモは全て分割が不要な小さいイモのみを使用し、圃場の排水性を向上させるために明渠を設け栽培を行った。その結果、種イモが腐敗することはなくなった。また、種イモは全て浴光催芽を行ったことで出芽揃いも良く、その後の生育も旺盛となった。10月9日に土寄せを行い、12月6日に収穫を行った。今年度は暖冬の影響もあって、いずれの品種也大粒のイモが多く、多収傾向にあった。春作・秋作共に、次年度においても同様の管理で栽培を行いたい。

ダイコンは、春作は例年栽培している‘つや風’‘耐病総太り二号’‘辛之介’に加えて‘紅三太’‘三太郎’‘ホワイトスティック’の計6品種を栽培した。3月8日から約10日間隔で播種し、播種後は不織布（パオパオ）のベタ掛けを行い鳥害対策とした。春作は例年、地下部をキスジノミハムシの幼虫による食害を受けやすい傾向にあることから、今年度はダイアジノン粒剤5を予め土壌と混和した。その結果、キスジノミハムシによる食害は減少し、良質なダイコンを継続して収穫することができた。秋作は、‘耐病総太り’を主に栽培し、漬物用の‘耐病干し理想’の他、‘紅三太’‘辛之介’‘紅心大根’‘国富大根’‘三太郎’を少量ずつ栽培した。春作と同様に、ダイアジノン粒剤5を土壌と混和し、8月26日から約10日間隔で播種した。播種後は鳥害対策として不織布（パオパオ）をベタ掛けした。例年と比べて品種が大幅に増えたことで、収穫時期も10月9日からと大幅に早くなったほか、青首ダイコンの‘耐病総太り’とは異なる様々な色、形、味のダイコンが出荷できるようになり、直売所でも非常に好評であった。また、ダイコンは春作・秋作のほか、早春収穫用（3月から4月収穫）として、ハウス内で‘耐病総太り二号’の作付けも行った。播種は2018年11月15日に行い、2019年2月26日から収穫を行った。例年、2～3月頃は販売物が少なくなるため、販売所でも大変好評であったが、やや収穫遅れとなる株が幾つか見られた。そのため、翌春収穫用（2020年3月収穫）のハウス内ダイコンは、収穫までの日数が異なる‘つや風’‘紅三太’の2品種を2019年11月15日に播種し、

余裕を持って収穫できるよう作付けを行っている。

ニンジンのは、春と秋の2回作付けを行っている。春作は‘向陽二号’を主とし、長期に渡って収穫が行えるよう、‘愛交時無五寸人参’‘紅かおり’を加えた3品種の栽培を行った。2月20日から順次播種を行い、5月31日から適宜収穫を行った。生育は良好で、目だった病害虫も見られなかったが、5月に急激な気温の低下があった影響で一部に抽台する株が見られた。加えて販売所での売れ行きが進まず、例年よりも収穫は遅れ、8月下旬まで収穫を行う結果となった。秋作は‘向陽二号’‘高農真紅金時’の他、春作での収穫遅れを踏まえ、同時期でも出荷が行えるよう、外観の異なる‘バイオレットハーモニー’‘イエローハーモニー’‘ホワイトハーモニー’を新たに導入した。播種は8月23日から行い、10月31日から適宜収穫を行った。播種後の9月は猛暑が続き、発芽不良が懸念されたが、不織布（パオパオ）のベタ掛けを行ったことで発芽揃いは良く、生育も旺盛で良質なニンジンを順次収穫することができた。また、新たに外観の異なる3品種を導入したことで、出荷の幅が広がり、販売所でも好評となった。

4) 豆類・スイートコーン

エダマメは‘サッポロミドリ’‘宝石’‘サヤムスメ’‘福成’‘湯上がり娘’‘岩手みどり’‘丹波黒’の7品種で栽培を行った。全て80穴カセット式育苗箱（シードルポット）を使用した移植栽培で行い、‘サッポロミドリ’‘宝石’‘サヤムスメ’‘福成’‘湯上がり娘’は、1穴に対して2粒播き、‘岩手みどり’‘丹波黒’は1穴に対して1粒播きとし、3月6日から7月6日まで順次播種と定植を行い、6月15日から11月8日まで収穫を行った。例年、ハスモンヨトウやカメムシによる被害が見られるため、圃場巡回と農薬散布に努めたことで生育はいずれも良好で、多収傾向となった。エダマメは販売所でも大変好評な品目の一つであるため、今後も高収量・品質が維持できるよう管理を徹底していきたい。

落花生は‘オオマサリ’を栽培した。生分解性マルチを使用し、株間70cm、1条定植した。8月中旬以降で白絹病が多発した為、薬剤散布で対応した。落花生の収穫量は例年と比べると増収となった。

スイートコーンは、‘カクテル600’‘おおもの’‘キャンベラ90EX’‘ピュアホワイト’‘ホワイトレディー’の5品種を栽培した。例年、鳥害対策として128穴セルトレイを用いた移植栽培を行っていたが、収穫サイズがやや小さくなる傾向にあったため、今年度は種子を直接圃場に播種する直播も行った。播種はハウス栽培用の2月23日から露地栽培用の5月22日まで行い、収穫は6月1日から8月3日まで行った。播種直後や収穫間際に鳥による被害が懸念されたが、防鳥ネットを適宜設置したことで被害は見られなかった。また、アワノメイガによる被害を抑えるため農薬散布も定期的に行った。その結果、収量は良好となり、販売所でも高評価であった。また、直播の方が収穫サイズはやや大きくなる傾向となった。来年度も鳥害・虫害対策に重点を置き、多収となるよう栽培方法や施肥内容について検討していきたい。

5) 花き

露地キクは主に冬至芽の移植栽培を行なっている。4月9日に学生実習で、冬至芽を採取し畑に直接定植した。電照キクは輪菊とスプレーマムを栽培し、例年どおり8月中旬に定植した。‘セイスナップ’‘ローズ舞風車’は伸長が旺盛なため、定植を遅らせ8月末に行った。電照は9月上旬より開始し、12月15日の出荷を目標としているため10月15日で打ち切った。10月中旬にアブラムシが多発した為、薬剤散布を行った。12月25日に収穫した。

花苗は花壇苗をポットで栽培している。少量多品種で季節に合わせた花を栽培している。春の花苗生産は、1月から3月の農閑期と花の播種時期が重なるため、冬季の仕事として最適である。直売所で花苗販売が定着し好評であった。秋作は、パンジー・ビオラ・ハボタンを栽培している。また、ブルーデージーなど栄養系品種を10月に挿し、翌年のポット苗として栽培を行った。岡山大学事務局棟及び農学部4号館の花壇に、農場で生産した‘ペチュニア’（6月）‘パンジー’（11月）を定植した。

6) 水耕栽培

汎用温室A棟は、昨年に続きパイプと防草シート及びP Oフィルム（ハクリヨク0.15×2m×30m）

で水を溜めるプールを作り水耕栽培を行った。水耕栽培用の穴の開いた発泡スチロール（64穴）を浮かべ、種は水耕栽培用の発泡ウレタンに直播し、温床で発芽させた。発芽した後に発泡スチロールの穴に移植した。培養液は大塚A処方（EC 1.2mS～1.8mS）とした。また水耕プールに溜めた培養液は酸素供給を目的に水中ポンプを使用し30分間隔で循環させた。コマツナの栽培で1作目は10月24日播種し、

12月5日に収穫を行う事が出来た。計画的に播種することで、10月末から4月上旬までに4作栽培が可能であった。コマツナその他、‘クレソン’ ‘スープセロリ’ ‘ミツバ’ ‘ミズナ’ ‘グ’ ‘レッドマスタード’ レタスの ‘グリーンロメイン’ ‘レッドオーク’ ‘グリーンオーク’ ‘ルッコラ’ を水耕栽培し、サラダセットとして一袋に詰め合わせて販売も行った。

（宮地 大介，谷岡 浩史）

第1表 耕種概要 2019年度 野菜・花き部門

作目	圃場	面積(a)	品種	畦間	株間	播種(月日)	定植(月日)	収穫(始)	収穫(終)	備考
カンショ(1)	南2	7.5	紅アズマ	130	25	5月20日	———	10月1日	10月17日	フィールド基礎実習にて定植
カンショ(2)	南2	1.8	黄金千貫	130	25	5月20日	———	11月8日	11月21日	フィールド基礎実習にて定植
カンショ(3)	南2	7.5	紅アズマ	130	25	5月27日	———	10月18日	11月1日	フィールド基礎実習にて定植
カンショ(4)	南2	1.8	黄金千貫	130	25	5月27日	———	11月22日	11月22日	フィールド基礎実習にて定植
カンショ(5)	南2	3.0	紅アズマ	130	25	6月14日	———	11月6日	11月22日	
カンショ(6)	南2	1.2	黄金千貫	130	25	6月20日	———	11月22日	11月22日	
エダマメ(1)	南1	1.5	サッポロミドリ	65	20	3月7日	4月2日	6月21日	6月24日	
エダマメ(2)	南1	1.5	サッポロミドリ	65	20	3月19日	4月9日	6月26日	6月26日	
エダマメ(3)	南1	1.5	大勝白毛	65	20	3月28日	4月16日	7月3日	7月3日	フィールド基礎実習にて定植
エダマメ(4)	南1	0.7	サヤムスメ	65	20	4月5日	4月23日	7月5日	7月5日	
エダマメ(5)	南1	1.5	サヤムスメ	65	20	4月16日	5月7日	7月16日	7月18日	
エダマメ(6)	南1	0.3	福成	65	20	4月24日	5月14日	7月16日	7月16日	
エダマメ(7)	南1	1.5	湯上り娘	65	20	5月10日	5月22日	7月29日	8月2日	
エダマメ(8)	南1	1.5	湯上り娘	65	20	6月26日	———	8月26日	9月2日	直播栽培
エダマメ(9)	南3	0.3	岩手みどり	130	30	6月30日	7月8日	9月30日	10月7日	
エダマメ(10)	南3	0.3	岩手みどり	130	30	7月8日	———	10月3日	10月7日	直播栽培
エダマメ(11)	南3	0.5	丹波黒	100	50	7月12日	7月31日	10月10日	10月16日	
スイートコーン(1)	ハウス5	1.5	ホワイトレディー	65	30	2月22日	3月18日	6月10日	6月14日	
スイートコーン(2)	ハウス2	0.5	ホワイトレディー	65	30	3月8日	4月1日	6月17日	6月21日	
スイートコーン(3)	ハウス2	1.0	クリスピーホワイト	65	30	3月8日	4月1日	6月17日	6月21日	
スイートコーン(4)	西4	1.0	カクテル600	65	40	3月19日	4月10日	6月24日	6月28日	
スイートコーン(5)	西4	1.0	カクテル600	65	40	3月28日	4月19日	6月28日	7月4日	
スイートコーン(6)	西4	0.5	キャンベラ90EX	65	40	4月11日	4月26日	7月8日	7月12日	
スイートコーン(7)	西4	1.0	キャンベラ90EX	65	40	4月16日	5月8日	7月16日	7月19日	
スイートコーン(8)	西4	0.7	おおもの	65	40	4月24日	5月10日	7月19日	7月24日	
スイートコーン(9)	西4	1.0	おおもの	90	30	5月10日	———	7月24日	7月31日	直播栽培
スイートコーン(10)	ハウス5	0.5	キャンベラ90EX	65	40	8月21日	———	10月29日	11月8日	直播栽培
スイートコーン(11)	ハウス5	0.5	キャンベラ90EX	65	40	8月29日	———	11月11日	12月2日	直播栽培
スイートコーン(12)	ハウス5	0.5	キャンベラ90EX	65	40	9月6日	———	12月9日	12月20日	直播栽培
冬越しカンラン(1)	南2	1.2	湖水	65	40	8月24日 (2018年)	9月14日 (2018年)	12月5日 (2018年)	3月26日	
冬越しカンラン(2)	南3	0.2	彩音	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	2月21日	3月11日	
冬越しカンラン(3)	南3	0.2	夢舞台	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	2月21日	4月2日	
冬越しカンラン(4)	南3	0.2	夢ごろも	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	2月21日	4月2日	
冬越しカンラン(5)	南3	0.2	冬藍	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	1月7日	3月11日	
冬越しカンラン(6)	南3	0.2	YR冬親方	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	2月21日	4月2日	
冬越しカンラン(7)	南3	0.2	YR銀次郎	65	40	8月17日 (2018年)	9月21日 (2018年)	2月21日	4月2日	
春カンラン(1)	南1	0.1	グリーンボール	65	30	2月1日	3月5日	5月14日	5月31日	
春カンラン(2)	南1	0.1	ジャンヌ	65	30	2月1日	3月5日	5月13日	5月31日	
春カンラン(3)	南1	0.2	金系201号	65	30	2月1日	3月5日	5月21日	6月6日	
春カンラン(4)	南1	0.2	グリーンボール	65	30	2月15日	3月15日	5月21日	5月31日	
春カンラン(5)	南1	0.6	金系201号	65	40	2月15日	3月15日	5月27日	6月6日	
春カンラン(6)	南1	0.6	彩峰	65	40	2月15日	3月22日	6月10日	6月19日	
春カンラン(7)	南1	0.3	サトウくん	65	40	2月15日	3月22日	6月10日	6月26日	
春カンラン(8)	南1	0.3	彩峰	65	40	2月22日	3月29日	6月25日	6月30日	
秋カンラン(1)	西4	0.3	初秋	65	30	7月1日	7月31日	9月30日	10月21日	
秋カンラン(2)	西4	0.2	初秋	65	30	7月19日	8月19日	10月18日	10月29日	
秋カンラン(3)	西4	0.5	おきな	65	30	8月7日	8月26日	10月29日	11月29日	
秋カンラン(4)	西4	0.5	湖月SP	65	40	8月20日	9月11日	12月2日	1月9日 (2020年)	
秋カンラン(5)	西4	1	湖水	65	40	8月28日	9月18日	12月9日	1月30日 (2020年)	
新冬越しカンラン(1)	南3	0.3	冬藍	65	40	8月20日	9月19日	1月22日 (2020年)	2月18日 (2020年)	

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
新冬越しカンラン(2)	南3	0.3	彩音	65	40	8月20日	9月19日	2月19日 (2020年)	収穫継続中	
新冬越しカンラン(3)	南3	0.3	夢ごろも	65	40	8月20日	9月19日	2月25日 (2020年)	収穫継続中	
冬越しブロッコリー(1)	南3	0.3	エンデバー SP	65	40	8月17日 (2018年)	9月27日 (2018年)	2月27日 (2019年)	4月2日 (2019年)	3/12頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
冬越しブロッコリー(2)	南3	0.2	ともえ	65	40	8月17日 (2018年)	9月27日 (2018年)	2月21日 (2019年)	4月2日 (2019年)	3/13頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
冬越しブロッコリー(3)	南3	0.2	みよ緑3号	65	40	8月17日 (2018年)	9月27日 (2018年)	2月21日 (2019年)	4月2日 (2019年)	3/14頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
春ブロッコリー(1)	南1	0.3	ハイツ SP	65	40	2月15日	3月22日	5月22日	6月19日	6/3頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
秋ブロッコリー(1)	西4	0.3	ハイツ SP	65	40	7月26日	8月22日	10月16日	1月20日 (2020年)	11/5頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
秋ブロッコリー(2)	西4	0.3	ハイツ SP	65	40	8月20日	9月11日	11月18日	1月20日 (2020年)	12/2頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
秋ブロッコリー(3)	西4	0.5	グリーンパラソル	65	40	8月20日	9月11日	11月27日	12月23日	
秋ブロッコリー(4)	西4	0.5	キャッスル	65	40	8月20日	9月11日	11月19日	12月11日	
新冬越しブロッコリー(1)	南3	0.2	グリーンビューティー	65	40	8月20日	9月19日	1月7日 (2020年)	1月16日 (2020年)	1/16頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
新冬越しブロッコリー(2)	南3	0.2	エンデバー SP	65	40	8月20日	9月19日	2月3日 (2020年)	2月20日 (2020年)	2/20頂花蕾収穫終了 脇芽を順次収穫
新冬越しブロッコリー(3)	南3	0.1	チャレンジャー	65	40	8月20日	9月19日	2月20日 (2020年)	収穫継続中	
茎ブロッコリー(1)	南1	0.3	グリーンボイス	65	40	2月15日	3月22日	5月7日	6月19日	4/25頂花蕾摘心
茎ブロッコリー(2)	西4	0.3	グリーンボイス	65	40	8月7日	8月26日	10月28日	1月20日 (2020年)	10/28頂花蕾摘心
茎ブロッコリー(3)	西4	0.3	グリーンボイス	65	40	8月20日	9月11日	11月5日	1月20日 (2020年)	11/5頂花蕾摘心
カリフラワー(1)	南2	0.1	スパイラルロマネスコ	65	40	8月24日 (2018年)	9月14日 (2018年)	2月25日	3月14日	
カリフラワー(2)	西4	0.3	スノークラウン	65	40	7月26日	8月22日	10月28日	11月30日	
カリフラワー(3)	西4	0.3	ホワイトキャンディ	65	40	8月7日	8月26日	11月30日	12月23日	
カリフラワー(4)	西4	0.3	ホワイトキャンディ	65	40	8月20日	9月11日	12月20日	1月20日 (2020年)	
カリフラワー(5)	西4	0.4	スノーニューダイヤ	65	40	8月20日	9月11日	12月20日	2月3日 (2020年)	
カリフラワー(6)	西4	0.1	バイオレットクイン	65	40	8月20日	9月11日	12月11日	12月26日	
カリフラワー(7)	南3	0.1	スパイラルロマネスコ	65	40	8月20日	9月19日	1月28日 (2020年)	2月25日 (2020年)	
ハウスホウレンソウ(1)	西1脇ハウス	0.5	ミストラル	65	15	1月4日 (2019年)	———	3月7日	3月14日	
春ホウレンソウ(1)	西2	0.5	ミストラル	65	15	2月1日	3月1日	4月3日	4月15日	移植栽培
春ホウレンソウ(2)	西2	0.5	ミストラル	65	15	2月21日	———	4月15日	4月23日	
春ホウレンソウ(3)	西2	0.3	ミストラル	65	15	3月1日	———	4月23日	4月24日	
春ホウレンソウ(4)	西2	0.3	晩抽サマースカイ	65	15	3月26日	———	5月8日	5月23日	
春ホウレンソウ(5)	西2	0.5	晩抽サマースカイ	65	15	4月3日	———	5月13日	5月23日	
春ホウレンソウ(6)	西2	0.3	晩抽サマースカイ	65	15	4月16日	———	5月27日	6月6日	
春ホウレンソウ(7)	西2	0.3	晩抽サマースカイ	65	15	4月25日	———	6月5日	6月10日	
春ホウレンソウ(8)	西2	0.3	晩抽サマースカイ	65	15	5月9日	———	6月17日	6月20日	
春ホウレンソウ(9)	西2	0.2	晩抽サマースカイ	65	15	5月14日	———	6月20日	6月25日	
春ホウレンソウ(10)	西2	0.2	ジャスティス	65	15	5月24日	———	7月1日	7月1日	
秋ホウレンソウ(1)	南1	0.1	ジャスティス	65	15	8月21日	9月5日	生育不良	収穫できず	移植栽培 夏季の高温により生育不良
秋ホウレンソウ(2)	南1	0.3	ミストラル	65	15	8月29日	———	10月8日	10月11日	夏季の高温により生育不良
秋ホウレンソウ(3)	南1	0.3	ミストラル	65	15	9月9日	———	10月8日	10月11日	夏季の高温により生育不良
秋ホウレンソウ(4)	南1	0.3	ミストラル	65	15	9月18日	———	10月23日	10月29日	
秋ホウレンソウ(5)	南1	0.3	ミストラル	65	15	9月24日	———	10月28日	10月31日	
秋ホウレンソウ(6)	南1	0.3	ミストラル	65	15	10月1日	———	11月5日	11月19日	
秋ホウレンソウ(7)	南1	0.3	ミストラル	65	15	10月8日	———	12月3日	12月18日	
秋ホウレンソウ(8)	南1	0.6	ミストラル	65	15	10月16日	———	12月19日	12月25日	
秋ホウレンソウ(9)	南1	0.6	ミストラル	65	15	10月29日	———	12月27日	1月9日 (2020年)	
秋ホウレンソウ(10)	南1	0.6	プログレス	65	15	11月5日	———	1月21日 (2020年)	2月12日 (2020年)	
新ハウスホウレンソウ(1)	ハウス1	0.5	ミラージュ	65	15	11月15日	———	1月14日 (2020年)	2月6日 (2020年)	
新ハウスホウレンソウ(2)	ハウス1	0.5	ミラージュ	65	15	11月29日	———	2月7日 (2020年)	2月20日 (2020年)	
新ハウスホウレンソウ(3)	ハウス1	0.5	ミラージュ	65	15	12月10日	———	2月20日 (2020年)	2月27日 (2020年)	
細ネギ(1)	西2	0.5	九条太	—	条播	4月5日	———	———	———	
細ネギ(2)	ハウス4	1.0	九条太	—	条播	4月15日	———	6月6日	6月21日	
細ネギ(3)	ハウス4	0.7	赤ひげ	—	条播	4月16日	———	———	———	
中ネギ(1)	南1	0.6	九条太	65	20	4月5日	7月8日	8月26日	9月2日	
中ネギ(2)	南1	1.2	九条太	65	20	4月5日	7月25日	9月3日	9月25日	
中ネギ(3)	南1	1.2	九条太	65	20	4月15日	8月7日	9月26日	11月20日	
中ネギ(4)	南1	0.6	九条太	65	20	4月15日	8月20日	11月21日	12月19日	

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
本畑ネギ(1)	西4	4.5	九条太	90	26	4月24日 (2018年)	8月7日 (2018年)	12月10日 (2018年)	4月9日	
本畑ネギ(2)	西1	3.5	赤ひげ	90	26	4月24日 (2018年)	8月7日 (2018年)	12月19日 (2018年)	4月2日	
リーキ	西1	0.4	ボワロ	90	13	4月24日 (2018年)	8月7日 (2018年)	1月10日	2月26日	
新本畑ネギ(1)	西5	2.4	九条太	90	26	4月15日	8月8日	12月23日	収穫継続中	
新本畑ネギ(2)	西5	1.6	赤ひげ	90	26	4月16日	8月8日	12月23日	収穫継続中	
新リーキ	西5	0.4	ボワロ	90	13	4月17日	8月6日	12月23日	収穫継続中	
ハウスレタス(1)	ハウス5	0.5	シスコ	65	30	10月26日 (2018年)	11月27日 (2018年)	2月25日	3月11日	
春レタス(2)	西1	0.5	シスコ	65	30	2月15日	3月20日	5月7日	5月13日	
春レタス(3)	西1	0.3	シスコ	65	30	2月22日	4月2日	5月15日	5月27日	
春レタス(4)	西1	0.3	シスコ	65	30	3月1日	4月9日	5月24日	6月4日	
春レタス(5)	西1	0.3	ディアマンテ	65	30	3月8日	4月15日	5月30日	6月6日	フィールド基礎実習にて定植
春レタス(6)	西1	0.3	サウザー	65	30	3月8日	4月15日	5月27日	6月6日	フィールド基礎実習にて定植
秋レタス(1)	南1	0.2	エクセル	65	30	8月7日	8月20日	9月30日	10月9日	
秋レタス(2)	南1	0.2	サウザー	65	30	8月21日	9月5日	10月10日	10月21日	
秋レタス(3)	南1	0.3	ディアマンテ	65	30	8月28日	9月11日	10月23日	11月12日	
秋レタス(4)	南1	0.4	シスコ	65	30	9月13日	9月30日	11月18日	11月30日	
新ハウスレタス(1)	ハウス5	0.5	シスコ	65	30	10月25日	12月10日	2月17日 (2020年)	収穫継続中	
春リーフレタス(1)	西1	0.5	グリーンジャケット	65	30	3月1日	4月2日	5月9日	5月20日	
秋リーフレタス(1)	南1	0.1	グリーンジャケット	65	30	8月21日	9月5日	10月3日	10月15日	
秋リーフレタス(2)	南1	0.1	グリーンジャケット	65	30	8月28日	9月11日	10月15日	10月23日	
秋リーフレタス(3)	南1	0.1	グリーンウエーブ	65	30	9月13日	9月30日	11月5日	11月12日	
ハウスリーフレタス(1)	ハウス5	0.5	グリーンウエーブ	65	30	10月25日	12月10日	1月27日 (2020年)	2月12日 (2020年)	
春サニーレタス(1)	西1	0.5	レッドウエーブ	65	30	2月1日	3月5日	4月18日	4月24日	
春サニーレタス(2)	西1	0.3	晩抽レッドファイヤー	65	30	3月15日	4月15日	5月16日	5月31日	フィールド基礎実習にて定植
秋サニーレタス(1)	南1	0.1	晩抽レッドファイヤー	65	30	8月21日	9月5日	10月4日	10月18日	
秋サニーレタス(2)	南1	0.1	晩抽レッドファイヤー	65	30	8月28日	9月11日	10月15日	10月23日	
秋サニーレタス(3)	南1	0.1	レッドウエーブ	65	30	9月13日	9月30日	11月5日	11月15日	
ハウスサニーレタス(1)	ハウス5	0.5	レッドウエーブ	65	30	10月25日	12月10日	1月27日 (2020年)	2月12日 (2020年)	
ロメインレタス	南1	0.2	コスレタス	65	30	9月13日	9月30日	12月4日	12月24日	
サラダ菜(1)	西1	0.3	岡山サラダ菜	65	30	3月28日	4月19日	5月27日	6月4日	
サラダ菜(2)	西1	0.3	岡山サラダ菜	65	30	4月10日	5月8日	6月6日	6月17日	
サラダ菜(3)	西1	0.3	岡山サラダ菜	65	30	5月10日	5月31日	6月28日	7月16日	
サラダ菜(4)	西1	0.3	岡山サラダ菜	65	30	5月31日	6月25日	7月16日	7月24日	
サラダ菜(5)	南1	少量	岡山サラダ菜	65	30	8月21日	9月5日	10月9日	11月5日	
サラダ菜(6)	南1	少量	岡山サラダ菜	65	30	8月28日	9月11日	10月18日	11月5日	
ニラ(1)	ハウス1	1.5	大葉	65	20	4月17日 (2018年)	7月9日 (2018年)	10月9日 (2018年)	10月10日 (2019年)	
ニラ(2)	ハウス2	1.5	大葉	65	20	4月10日	7月18日	10月8日	収穫継続中	フィールド基礎実習にて定植
ニラ(3)	ハウス2	1.5	大葉	65	20	4月17日	7月18日	10月8日	収穫継続中	フィールド基礎実習にて定植
ニンニク(1)	西1	0.7	上海早生	65	20	10月19日 (2018年)	———	5月27日	5月27日	4/22 抽台確認
ニンニク(2)	西1	0.7	嘉定種	43	20	10月19日 (2018年)	———	5月27日	5月27日	4/22 抽台確認
ニンニク(3)	西2	1.5	嘉定種	65	20	10月21日	———	———	———	
春ミズナ(1)	西1	0.3	京みぞれ	43	20	2月1日	3月1日	4月10日	4月18日	
春ミズナ(2)	西1	0.3	京みぞれ	43	20	3月8日	4月1日	4月25日	5月10日	
春ミズナ(3)	西1	0.3	京みぞれ	43	20	3月28日	4月19日	5月13日	5月16日	
秋ミズナ(1)	南1	0.1	京みぞれ	32	20	8月7日	8月20日	9月20日	9月26日	
秋ミズナ(2)	南1	0.1	京みぞれ	32	20	8月21日	9月5日	9月30日	10月1日	
秋ミズナ(3)	南1	0.1	京みぞれ	32	20	8月28日	9月11日	10月2日	10月9日	
秋ミズナ(4)	南1	0.1	京みぞれ	43	20	9月6日	9月19日	10月10日	10月15日	
秋ミズナ(5)	南1	0.3	京みぞれ	65	20	9月20日	10月3日	11月6日	11月25日	
秋ミズナ(6)	南1	0.3	京みぞれ	65	20	9月27日	10月18日	11月20日	12月9日	
ハウスミズナ(1)	ハウス5	0.4	京みぞれ	65	20	10月25日	12月26日	1月27日 (2020年)	2月13日 (2020年)	
春コマツナ(1)	南1	0.3	たいこう菜	65	15	4月11日	———	5月9日	5月23日	
春コマツナ(2)	南1	0.2	たいこう菜	65	15	4月23日	———	5月27日	5月31日	
春コマツナ(3)	南1	0.2	たいこう菜	65	15	5月9日	———	6月4日	6月10日	
秋コマツナ(1)	南1	0.1	たいこう菜	43	15	8月7日	8月23日	9月9日	9月13日	移植栽培
秋コマツナ(2)	南1	0.1	たいこう菜	43	15	8月21日	8月29日	9月17日	9月19日	移植栽培
秋コマツナ(3)	南1	0.2	夏楽天	65	15	8月29日	———	9月20日	9月26日	
秋コマツナ(4)	南1	0.2	夏楽天	65	15	9月9日	———	9月30日	10月15日	

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
秋コマツナ(5)	南1	0.2	夏楽天	65	15	9月18日	———	10月15日	10月23日	
秋コマツナ(6)	南1	0.2	夏楽天	65	15	9月24日	———	10月28日	10月31日	
秋コマツナ(7)	南1	0.2	夏楽天	65	15	10月2日	———	11月5日	11月12日	
秋コマツナ(8)	南1	0.2	夏楽天	65	15	10月9日	———	11月18日	11月27日	
秋コマツナ(9)	西2	0.2	夏楽天	65	15	10月21日	———	12月3日	12月19日	
サトイモ(1)	西2	0.5	石川早生	110	60	3月15日	5月9日	11月7日	11月7日	芽出し移植栽培
サトイモ(2)	西2	1.0	エグイモ	110	60	3月28日	5月14日	11月7日	11月7日	芽出し移植栽培 フィー ルド基礎実習にて定植
サトイモ(3)	西2	0.5	赤芽大吉	110	60	3月28日	5月14日	1月14日 (2020年)	1月14日 (2020年)	芽出し移植栽培 フィー ルド基礎実習にて定植
サトイモ(4)	西2	1.0	石川早生	110	60	4月12日	———	11月7日	11月7日	
サトイモ(5)	西2	4.5	エグイモ	110	60	4月12日	———	1月14日 (2020年)	1月22日 (2020年)	
サトイモ(6)	西2	1.3	赤芽大吉	110	60	4月12日	———	1月6日 (2020年)	1月6日 (2020年)	
サトイモ(7)	西2	0.3	タケノコイモ	110	60	4月12日	———	1月6日 (2020年)	1月6日 (2020年)	
コカブ(1)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	9月4日	———	9月30日	10月7日	
コカブ(2)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	9月12日	———	10月9日	10月15日	
コカブ(3)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	9月18日	———	10月16日	10月25日	
コカブ(4)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	9月25日	———	10月28日	11月5日	
コカブ(5)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	10月1日	———	11月5日	11月18日	
コカブ(6)	西4	0.1	耐病ひかり	65	15	10月9日	———	11月20日	12月24日	
カブ(1)	西4	0.5	聖護院大丸蕪	65	20	9月4日	———	11月5日	2月20日 (2020年)	9/12追い播き、9/25間引 き実施
カブ(2)	西4	0.5	聖護院大丸蕪	65	20	9月17日	———	12月5日	2月20日 (2020年)	10/1間引き実施
カブ(3)	西4	0.5	聖護院大丸蕪	65	20	9月25日	———	1月9日 (2020年)	2月25日 (2020年)	10/9間引き実施
ラディッシュ(1)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	9月4日	———	9月20日	9月30日	
ラディッシュ(2)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	9月12日	———	9月30日	10月3日	
ラディッシュ(3)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	9月18日	———	10月7日	10月11日	
ラディッシュ(4)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	9月25日	———	10月15日	10月18日	
ラディッシュ(5)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	10月1日	———	10月21日	10月25日	
ラディッシュ(6)	西4	0.1	ニューコメット	65	15	10月9日	———	10月29日	11月11日	
ハウスダイコン	ハウス4	0.5	耐病総太り二号	65	20	11月15日 (2018年)	———	2月26日	3月19日	12/19間引き実施
春ダイコン(1)	南1	0.6	つや風	65	20	3月8日	———	5月14日	5月27日	4/11間引き実施
春ダイコン(2)	南1	0.6	つや風	65	20	3月20日	———	5月27日	6月17日	4/17間引き実施
春ダイコン(3)	南1	0.3	耐病総太り二号	65	20	4月3日	———	6月6日	7月1日	4/25間引き実施
春ダイコン(4)	南1	0.1	紅三太	65	20	4月3日	———	5月27日	6月6日	4/25間引き実施
春ダイコン(5)	南1	0.1	辛之介	65	20	4月3日	———	5月27日	6月5日	4/25間引き実施
春ダイコン(6)	南1	0.3	耐病総太り二号	65	20	4月11日	———	7月4日	7月16日	4/25間引き実施
春ダイコン(7)	南1	0.1	紅三太	65	20	4月11日	———	5月29日	6月6日	4/25間引き実施
春ダイコン(8)	南1	0.1	辛之介	65	20	4月11日	———	6月10日	6月21日	4/25間引き実施
春ダイコン(9)	南1	0.1	三太郎	65	20	4月11日	———	6月20日	6月28日	4/25間引き実施
春ダイコン(10)	南1	0.2	ホワイトスティック	65	20	4月19日	———	6月17日	6月21日	5/9間引き実施
秋ダイコン(1)	南1	0.3	耐病総太り	65	20	8月26日	———	10月28日	12月25日	9/9間引き実施
秋ダイコン(2)	南1	0.1	紅三太	65	20	8月26日	———	10月9日	10月15日	9/9間引き実施
秋ダイコン(3)	南1		辛之介	65	20	8月26日	———	10月21日	10月24日	9/9間引き実施
秋ダイコン(4)	南1		紅心大根	65	20	8月26日	———	10月21日	10月31日	9/9間引き実施
秋ダイコン(5)	南1	0.3	耐病総太り	65	20	9月5日	———	10月31日	2月19日 (2020年)	9/18間引き実施
秋ダイコン(6)	南1	0.1	紅三太	65	20	9月5日	———	10月21日	10月25日	9/18間引き実施
秋ダイコン(7)	南1		紅心大根	65	20	9月5日	———	11月13日	11月14日	9/18間引き実施
秋ダイコン(8)	南1		国富大根	65	20	9月5日	———	11月11日	11月11日	9/18間引き実施
秋ダイコン(9)	南1	0.3	耐病総太り	65	20	9月17日	———	12月3日	2月19日 (2020年)	9/26間引き実施
秋ダイコン(10)	南1	0.1	紅三太	65	20	9月18日	———	10月28日	11月6日	9/26間引き実施
秋ダイコン(11)	南1		辛之介	65	20	9月18日	———	11月19日	12月3日	9/26間引き実施
秋ダイコン(12)	南1		紅心大根	65	20	9月18日	———	11月19日	12月3日	9/26間引き実施
秋ダイコン(13)	南1	0.6	耐病総太り	65	20	9月24日	———	12月5日	2月19日 (2020年)	10/9間引き実施
秋ダイコン(14)	南1	0.1	紅三太	65	20	9月24日	———	11月19日	11月29日	10/9間引き実施
秋ダイコン(15)	南1		国富大根	65	20	9月24日	———	12月23日	1月15日 (2020年)	10/9間引き実施
秋ダイコン(16)	南1		紅心大根	65	20	9月24日	———	12月23日	12月23日	10/9間引き実施
秋ダイコン(17)	南1	0.2	耐病干し理想	65	20	9月24日	———	12月3日	12月3日	10/9間引き実施
秋ダイコン(18)	南1	0.4	耐病総太り	65	20	10月2日	———	1月9日 (2020年)	2月19日 (2020年)	10/23間引き実施
秋ダイコン(19)	南1	0.1	紅三太	65	20	10月2日	———	12月23日	1月8日 (2020年)	10/23間引き実施
秋ダイコン(20)	南1		三太郎	65	20	10月2日	———	12月23日	1月15日 (2020年)	10/23間引き実施
秋ダイコン(21)	南1		紅心大根	65	20	10月2日	———	12月23日	1月15日 (2020年)	10/23間引き実施

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
新ハウスダイコン(1)	ハウス 1	0.3	つや風	65	20	11月15日	————	2月25日 (2020年)	収穫継続中	12/17 間引き実施
新ハウスダイコン(2)	ハウス 1	0.1	紅三太	65	20	11月15日	————	2月3日 (2020年)	2月26日 (2020年)	12/17 間引き実施
春ニンジン(1)	南1	0.6	向陽二号	32	10	2月20日	————	5月31日	7月1日	4/17 間引き実施
春ニンジン(2)	南1	0.6	向陽二号	32	10	3月5日	————	6月6日	7月24日	4/24 間引き実施
春ニンジン(3)	南1	0.6	向陽二号	32	10	3月22日	————	7月29日	8月8日	5/8 間引き実施
春ニンジン(4)	南1	0.3	愛交時無五寸人参	32	10	4月9日	————	8月20日	8月21日	5/16 間引き実施
春ニンジン(5)	南1	0.3	紅かおり	32	10	4月9日	————	8月8日	8月20日	5/16 間引き実施
秋ニンジン(1)	西2	0.5	向陽二号	32	10	8月23日	————	10月31日	11月15日	9/25 間引き実施
秋ニンジン(2)	西2	0.5	高農真紅金時	32	10	8月23日	————	12月16日	1月8日 (2020年)	9/3 追い播き、9/25 間引き実施
秋ニンジン(3)	西2	0.5	向陽二号	32	10	9月2日	————	11月15日	12月9日	10/23 間引き実施
秋ニンジン(4)	西2	0.3	向陽二号	32	10	9月10日	————	11月25日	12月9日	10/23 間引き実施
秋ニンジン(5)	西2	0.1	バイオレットハーモニー	32	10	9月10日	————	12月3日	1月15日 (2020年)	10/23 間引き実施
秋ニンジン(6)	西2	0.1	イエローハーモニー	32	10	9月10日	————	12月3日	1月15日 (2020年)	10/23 間引き実施
秋ニンジン(7)	西2	0.1	ホワイトハーモニー	32	10	9月10日	————	12月3日	1月15日 (2020年)	10/23 間引き実施
秋ニンジン(8)	西2	0.5	向陽二号	32	10	9月20日	————	12月9日	1月8日 (2020年)	10/29 間引き実施
春バレイショ(1)	西5	2.5	ダンシャク	100	25	3月6日	————	6月4日	6月4日	フィールド基礎実習にて収穫
春バレイショ(2)	西5	2.5	メークイン	100	25	3月6日	————	6月4日	6月5日	フィールド基礎実習にて収穫
春バレイショ(3)	西5	1.0	キタアカリ	100	25	3月6日	————	6月5日	6月5日	
春バレイショ(4)	西5	1.0	デジマ	100	25	3月6日	————	6月17日	6月17日	フィールド基礎実習にて収穫
春バレイショ(5)	西5	0.5	アンデス	100	25	3月6日	————	6月17日	6月17日	フィールド基礎実習にて収穫
春バレイショ(6)	西5	0.5	ニシユタカ	100	25	3月6日	————	6月17日	6月17日	フィールド基礎実習にて収穫
秋バレイショ(1)	西3	1.5	デジマ	100	25	9月12日	————	12月6日	12月6日	
秋バレイショ(2)	西3	1.2	アンデス	100	25	9月12日	————	12月6日	12月6日	
秋バレイショ(3)	西3	0.7	ニシユタカ	100	25	9月12日	————	12月6日	12月6日	
秋バレイショ(4)	西3	0.5	キタアカリ	100	25	9月12日	————	12月6日	12月6日	
セルリー(1)	ハウス 3	1.2	トップセラー	65	40	6月1日 (2018年)	8月16日 (2018年)	11月22日 (2018年)	3月5日	
セルリー(2)	ハウス 3	0.3	トップセラー	65	40	6月30日 (2018年)	9月6日 (2018年)	1月10日	3月5日	
セルリー(3)	ハウス 4	0.5	トップセラー	65	40	5月31日	8月22日	12月2日	12月25日	
セルリー(4)	ハウス 4	0.5	トップセラー	65	40	6月30日	8月29日	12月26日	2月6日 (2020年)	
セルリー(5)	ハウス 4	0.5	トップセラー	65	40	6月30日	9月12日	2月10日 (2020年)	2月27日 (2020年)	
ゴボウ(1)	西5	0.1	サラダむすめ	130	10	3月25日	————	6月10日	6月21日	
ゴボウ(2)	西5	0.1	サラダむすめ	130	10	4月8日	————	6月24日	7月3日	
ゴボウ(3)	西5	0.1	サラダむすめ	130	10	4月25日	————	7月16日	7月22日	
ゴボウ(4)	西5	0.1	サラダむすめ	130	10	5月14日	————	7月22日	7月22日	
カラシナ(1)	南1	0.1	うまから菜	65	15	3月14日	————	4月25日	5月7日	
カラシナ(2)	西4	0.1	うまから菜	43	20	9月6日	9月19日	10月7日	10月24日	
カラシナ(3)	西4	0.1	うまから菜	43	20	9月20日	10月3日	10月24日	12月9日	
カラシナ(4)	西4	0.1	うまから菜	43	20	9月27日	10月15日	11月6日	12月9日	
ワサビナ(1)	南1	0.1	わさび菜	65	15	3月14日	————	4月25日	5月9日	
ワサビナ(2)	南1	0.1	わさび菜	65	15	4月11日	————	5月14日	5月24日	
ワサビナ(3)	西4	0.1	わさび菜	43	20	9月6日	9月19日	10月7日	10月16日	
ワサビナ(4)	西4	0.1	わさび菜	43	20	9月20日	10月3日	10月24日	11月8日	
ワサビナ(5)	西4	0.1	わさび菜	43	20	9月27日	10月15日	11月11日	12月9日	
カツオナ(1)	南1	0.1	かつお菜	65	15	3月14日	————	4月25日	5月9日	
カツオナ(2)	南1	0.1	かつお菜	65	15	4月11日	————	5月14日	5月29日	
カツオナ(3)	南1	0.1	かつお菜	43	20	9月6日	9月19日	10月7日	10月16日	
カツオナ(4)	南1	0.1	かつお菜	43	20	9月20日	10月3日	10月28日	11月18日	
カツオナ(5)	南1	0.3	かつお菜	43	20	9月27日	10月18日	11月20日	2月26日 (2020年)	
春チンゲンサイ(1)	西1	0.3	青武	65	20	2月1日	3月1日	4月12日	4月17日	
春チンゲンサイ(2)	西1	0.3	青武	65	20	3月8日	4月1日	5月7日	5月10日	
春チンゲンサイ(3)	西1	0.3	夏帝	65	20	3月28日	4月19日	5月13日	5月16日	
春チンゲンサイ(4)	西1	0.3	夏帝	65	20	4月10日	5月9日	6月6日	6月6日	
春チンゲンサイ(5)	西1	0.2	夏帝	65	20	4月24日	5月14日	6月5日	6月6日	
秋チンゲンサイ(1)	南1	0.1	夏帝	43	20	8月7日	8月20日	9月24日	10月1日	
秋チンゲンサイ(2)	南1	0.1	夏帝	43	20	8月21日	9月5日	10月2日	10月9日	
秋チンゲンサイ(3)	南1	0.1	夏帝	43	20	8月28日	9月11日	10月8日	10月15日	
秋チンゲンサイ(4)	南1	0.1	青武	43	20	9月6日	9月19日	10月16日	10月23日	
秋チンゲンサイ(5)	南1	0.3	青武	65	20	9月20日	10月3日	11月5日	12月9日	
秋チンゲンサイ(6)	南1	0.3	青武	65	20	9月27日	10月18日	11月20日	12月9日	
ハウスチンゲンサイ(1)	ハウス 5	0.4	青武	65	20	10月25日	12月27日	1月30日 (2020年)	2月6日 (2020年)	
ハクサイ(1)	西4	0.2	無双	65	30	8月21日	9月5日	10月31日	11月26日	
ハクサイ(2)	西4	0.2	晴黄60	65	30	8月21日	9月5日	10月31日	12月2日	

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
ハクサイ(3)	西4	0.5	黄ごころ80	65	40	8月28日	9月11日	11月27日	1月20日 (2020年)	
ハクサイ(4)	西4	0.5	晴黄85	65	40	8月28日	9月11日	11月27日	1月20日 (2020年)	
ハクサイ(5)	西4	1.0	黄ごころ90	65	40	8月28日	9月12日	12月2日	1月20日 (2020年)	
ハクサイ(6)	西4	0.5	晴黄85	65	40	9月20日	10月3日	2月6日 (2020年)	2月28日 (2020年)	12/23 フィールド基礎 実習にて上部を結束
シュンギク(1)	ハウス2	1.5	大葉春菊	65	15	8月24日 (2018年)	9月26日 (2018年)	10月18日 (2018年)	3月22日	
シュンギク(2)	ハウス3	1.5	大葉春菊	65	20	8月23日	9月20日	10月10日	収穫継続中	農場体験実習にて定植
タカナ(1)	南1	0.1	三池高菜	65	30	9月6日	10月1日	11月15日	11月30日	
タカナ(2)	南1	0.1	三池高菜	65	30	9月13日	10月3日	12月2日	12月25日	
タカナ(3)	南1	0.1	三池高菜	65	30	9月20日	10月18日	12月18日	2月3日 (2020年)	
タカナ(4)	南1	0.2	三池高菜	65	30	9月27日	10月18日	12月18日	2月3日 (2020年)	
ノザワナ(1)	西4	0.1	野沢菜	65	20	9月20日	10月3日	11月19日	1月16日 (2020年)	
ノザワナ(2)	西4	0.3	野沢菜	65	20	9月27日	10月15日	12月5日	1月16日 (2020年)	
シロナ(1)	南1	0.1	大阪しろな	43	15	2月1日	2月27日	4月1日	4月25日	移植栽培
シロナ(2)	南1	0.1	大阪しろな	43	15	2月15日	————	4月9日	4月25日	
シロナ(3)	南1	0.1	大阪しろな	65	15	3月1日	————	4月17日	4月25日	
シロナ(4)	南1	0.1	大阪しろな	65	15	4月11日	————	5月9日	6月6日	
シロナ(5)	南1	0.1	大阪しろな	65	15	4月23日	————	5月20日	6月10日	
ズッキーニ	西5	0.5	ダイナー	130	60	3月28日	4月15日	5月29日	7月24日	
タマネギ(1)	西4	1.0	立春のかほり	65	12 (4条定植)	9月5日 (2018年)	10月26日 (2018年)	3月1日 (2019年)	4月1日 (2019年)	マルチ栽培
タマネギ(1)	西4	1.0	フォーカス	65	12 (4条定植)	9月5日 (2018年)	10月30日 (2018年)	3月18日 (2019年)	4月5日 (2019年)	マルチ栽培
タマネギ(3)	西4	2.0	マッハ	65	12 (4条定植)	9月12日 (2018年)	11月6日 (2018年)	4月22日 (2019年)	4月22日 (2019年)	マルチ栽培
タマネギ(5)	西4	2.0	ソニック	65	12 (4条定植)	9月19日 (2018年)	11月9日 (2018年)	5月8日 (2019年)	5月8日 (2019年)	
タマネギ(6)	西4	1.0	猩々赤	65	12 (4条定植)	9月27日 (2018年)	11月16日 (2018年)	5月20日 (2019年)	5月20日 (2019年)	
タマネギ(7)	西4	2.0	ターボ	65	12 (4条定植)	9月27日 (2018年)	11月26日 (2017年)	5月27日 (2019年)	5月27日 (2019年)	
タマネギ(8)	西4	2.5	ケルタマ	65	12 (4条定植)	10月2日 (2018年)	11月28日 (2018年)	6月10 (2019年)	6月10 (2019年)	
タマネギ(9)	西4	1.0	ネオアース	65	12 (4条定植)	10月9日 (2018年)	11月27日 (2018年)	6月10 (2019年)	6月10 (2019年)	
タマネギ(10)	西4	2.0	ネオアース	65	12 (4条定植)	11月29日 (2018年)	2月21日 (2019年)	6月10 (2019年)	6月10 (2019年)	マルチ栽培
ナス (台木)			耐病VF			1月21日	3月18日 (接ぎ)	6月7日	11月6日	
ナス(1)	西3	0.5	長者	180	60	1月28日	4月22日	6月7日	11月6日	
ナス(2)	西3	0.5	千両	180	60	1月28日	4月22日	6月7日	11月6日	
ナス(3)	西3	0.2	くろわし・ホワイトベル	180	60	1月28日	4月22日	6月7日	11月6日	
ナス(4)	西3	0.3	鶴見・衣川・庄屋大長	180	60	1月28日	4月22日	6月7日	11月6日	
ピーマン(1)	西3	0.3	伏見甘長	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	9cmポット植え替え4月2日
ピーマン(2)	西3	0.3	甘とう美人	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
ピーマン(3)	西3	0.6	京みどり	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
ピーマン(5)	西3	0.1	メガホン	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
			カリフォルニアワンダー			3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
ピーマン(6)	西3	0.1	ジャンボ	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
ピーマン(7)	西3	0.1	鷹の爪	180	60	3月13日	5月13日	6月7日	11月6日	
スイカ(1)	西3	1.4	夏武輝・豪夏・ピノガール・オレシジヴォーノ・シュガムーン	400	100	3月1日	4月15日	7月9日	7月27日	
スイカ台木			かんぴょう			3月7日	3月18日 (接ぎ)			
スイカ(2)	西3	1.4	秀山・ブラックボール	400	100	3月27日	5月7日	7月25日	8月8日	
スイカ台木			かんぴょう			4月1日	4月9日 (接ぎ)			
スイカ(3)	西3	1.4	紅まくら	400	100	3月27日	5月7日			
スイカ台木			かんぴょう			4月1日	4月9日 (接ぎ)	7月25日	8月8日	
カボチャ(1)	西3	4.5	打木早生赤栗	400	100	4月5日	5月13日	7月29日	8月6日	
カボチャ(2)	西3		ロロン・はやと	400	100	4月5日	5月13日	7月29日	8月6日	
カボチャ(3)	西3		夢見・つるなしやっこ	400	100	4月5日	5月13日	7月29日	8月6日	
カボチャ(4)	西3		バターナッツ・えびす	400	100	4月5日	5月13日	7月29日	8月6日	

作目	圃場	面積 (a)	品種	畦間	株間	播種 (月日)	定植 (月日)	収穫 (始)	収穫 (終)	備考
カボチャ(5)	西3		ほっこり133・くりまさる	400	100	4月5日	5月13日	7月29日	8月6日	
トウガン	西3	1.4	長とうがん	400	100	4月10日	5月10日	7月29日	8月6日	
キュウリ	汎用温室A	1.0	フリーダムハウス1号	1.5	30	4月11日	4月28日	5月27日	7月24日	プランター栽培
オクラ	西3	1.2	グリーンソード	65	36 (3株定植)	5月13日	5月13日	7月8日	10月31日	直播3粒
クウシンサイ	西6	0.6		65	24	5月10日	5月10日	6月17日	11月8日	直播3粒
ツルムラサキ	西6	0.6		65	36	5月10日	5月27日	6月28日	10月30日	
モロヘイヤ	西6	0.6		65	36	4月10日	5月15日	6月7日	11月7日	
トマト (春作)	汎用温室B	2.0	桃太郎ファイト	100	12	12月28日 (2018年)	2月15日 (2019年)	5月7日 (2019年)	7月24日 (2019年)	
トマト (春作)	汎用温室B	1.0	シンディースイート	100	10	12月28日 (2018年)	2月15日 (2019年)	5月7日 (2019年)	7月24日 (2019年)	
トマト (春作)	汎用温室B	1.0	エコスイート	100	10	12月28日 (2018年)	2月15日 (2019年)	5月13日 (2019年)	7月24日 (2019年)	
トマト (秋作)	汎用温室B	2.0	桃太郎ファイト	100	12	7月30日 (2019年)	8月20日 (2019年)	11月5日 (2019年)	2月1日 (2020年)	
	汎用温室B	0.5	ルネッサンス	100	12	7月30日 (2019年)	8月20日 (2019年)	11月5日 (2019年)	2月1日 (2020年)	
トマト (秋作)	汎用温室B	0.5	シンディースイート	100	10	7月30日 (2019年)	8月20日 (2019年)	10月25日 (2019年)	2月1日 (2020年)	
トマト (秋作)	汎用温室B	1.0	エコスイート	100	10	7月30日 (2019年)	8月20日 (2019年)	10月10日 (2019年)	2月1日 (2020年)	
イチゴ(1)	イチゴハウス	4.4a	紅ほっぺ・ゆめのか	100	20	7月24日 (2018年)	9月25日 (2018年)	1月6日 (2019年)	6月25日 (2019年)	
メロン(1)	ハウス西3	1.3	ババイヤ	300	60	2月14日	4月4日	6月27日	6月27日	
メロン(2)	ハウス西3	1.3	ラブコール	300	60	2月14日	4月4日	7月9日	7月9日	
ラッカセイ	西4	3.6	おおまさり	65	70	5月10日	6月6日	9月24日	11月18日	
水耕栽培	汎用温室A	0.9	こまつな (夏楽天) 他	100	12	10月24日 (2018年)	11月12日 (2018年)	1月9日 (2019年)	4月15日 (2019年)	2週間毎に播種収穫

第2表 除草剤防除歴 2019年度

平成31年4月(5月より令和元年)～令和2年3月

作目	月日	薬品名	倍率等	備	考
カンショ	8月5日	トレボン乳剤	1000	カンショ(1)～(6)	
	9月17日	ラービフロアブル	1000	カンショ(1)～(6)	
全てのイモつるに施用 ベンレート水和剤			500	30分間苗基部浸漬	
作目	月日	薬品名	倍率等	備	考
スイートコーン	4月24日	アディオオン乳剤	2000	スイートコーン(1)～(3)	
	4月24日	リゾレックス水和剤	1500	スイートコーン(1)～(3)	
	5月10日	シミチオン乳剤	2000	スイートコーン(1)～(6)	
	5月24日	マトリックフロアブル	2000	スイートコーン(1)	
	5月24日	ダントツ水溶剤	2000	スイートコーン(1)	
	5月24日	アディオオン乳剤	2000	スイートコーン(2)～(6)	
	6月6日	マトリックフロアブル	2000	スイートコーン(2)	
	6月6日	ダントツ水溶剤	2000	スイートコーン(2)	
	6月6日	トレボン乳剤	1000	スイートコーン(4)～(8)	
	6月13日	サフオイル乳剤	500	スイートコーン(2)	
	6月13日	フェニックス顆粒水和剤	2000	スイートコーン(2)	
	6月18日	ダントツ水溶剤	2000	スイートコーン(4)・(5)	
	6月18日	マトリックフロアブル	2000	スイートコーン(4)・(5)	
	6月18日	カスケード乳剤	4000	スイートコーン(6)～(9)	
	6月18日	アクタラ顆粒水和剤	3000	スイートコーン(6)～(9)	
	6月28日	フェニックス顆粒水和剤	2000	スイートコーン(5)～(8)	
	6月28日	サフオイル乳剤	500	スイートコーン(5)～(8)	
	6月28日	アグロスリン乳剤	1000	スイートコーン(9)	
	7月5日	ダントツ水溶剤	2000	スイートコーン(6)～(8)	
	7月5日	マトリックフロアブル	2000	スイートコーン(6)～(8)	
	9月26日	アグロスリン乳剤	2000	スイートコーン(10)～(12)	
	10月10日	トレボン乳剤	1000	スイートコーン(10)～(12)	
	10月18日	ダントツ水溶剤	2000	スイートコーン(10)～(12)	
	10月18日	マトリックフロアブル	2000	スイートコーン(10)～(12)	
	10月31日	アフファーム乳剤	1000	スイートコーン(10)～(12)	
	10月31日	サフオイル乳剤	300	スイートコーン(10)～(12)	
全作共通 雌穂抽出前に施用 デナボン粒剤5			6kg/10a	トップドレッシング	

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
エダマメ	5月10日	スミチオン乳剤	2000	エダマメ(1)～(3)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	エダマメ(1)～(3)
	5月24日	アディオン乳剤	2000	エダマメ(1)～(4)
	6月18日	ダントツ水溶剤	2000	エダマメ(1)～(4)
	6月18日	カスケード乳剤	4000	エダマメ(5)～(7)
	6月18日	アクタラ顆粒水和剤	3000	エダマメ(5)～(7)
	7月5日	ダントツ水溶剤	2000	エダマメ(5)～(7)
	7月5日	マトリックフロアブル	2000	エダマメ(5)～(7)
	7月26日	ダントツ水溶剤	2000	エダマメ(7)・(8)
	7月26日	アグロスリン乳剤	2000	エダマメ(9)・(10)
	8月5日	トレボン乳剤	1000	エダマメ(9)・(10)
	8月8日	アフーム乳剤	1000	エダマメ(8)
	8月8日	アクタラ顆粒水和剤	3000	エダマメ(8)
	8月8日	アミスター 20フロアブル	2000	エダマメ(8)
	9月9日	ランネートDF	1000	エダマメ(9)～(11)
	9月13日	ダントツ水溶剤	2000	エダマメ(9)～(11)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
カンラン	4月18日	ノーモルト乳剤	2000	春カンラン(1)～(8)
	4月18日	粘着くん	100	春カンラン(1)～(8)
	4月28日	アディオン乳剤	2000	春カンラン(1)～(8)
	4月28日	アミスター 20フロアブル	2000	春カンラン(1)～(8)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春カンラン(1)～(8)
	5月10日	粘着くん	100	春カンラン(1)～(8)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春カンラン(1)～(8)
	5月24日	アディオン乳剤	2000	春カンラン(1)～(8)
	6月6日	トレボン乳剤	1000	春カンラン(6)～(8)
	6月6日	ライメイフロアブル	2000	春カンラン(6)～(8)
	6月13日	サフオイル乳剤	500	春カンラン(6)～(8)
	6月13日	フェニックス顆粒水和剤	2000	春カンラン(6)～(8)
	8月22日	サイアノックス乳剤	1000	秋カンラン(1)・(2)
	9月6日	アディオン乳剤	2000	秋カンラン(1)～(3)
	9月13日	アフームエクセラ顆粒水和剤	1000	秋カンラン(1)～(3)
	9月20日	ノーモルト乳剤	2000	秋カンラン(1)～(3)
	9月20日	サフオイル乳剤	300	秋カンラン(1)～(3)
	9月26日	トレボン乳剤	1000	秋カンラン(1)～(3)
	9月26日	バレード20フロアブル	2000	秋カンラン(1)～(3)
	10月4日	トレボン乳剤	1000	秋カンラン(1)～(5)
	10月11日	スピノエース顆粒水和剤	2500	秋カンラン(1)～(5)
	10月11日	アクタラ顆粒水和剤	3000	秋カンラン(1)～(5)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋カンラン(2)～(5)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋カンラン(2)～(5)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	秋カンラン(3)～(5)
	11月1日	ウララDF	2000	秋カンラン(3)～(5)
	11月1日	ランマンフロアブル	2000	秋カンラン(3)～(5)
	11月8日	アディオン乳剤	2000	秋カンラン(3)～(5)
	11月8日	セイビアーフロアブル	1000	秋カンラン(3)～(5)
	10月4日	アタブロン乳剤	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月4日	ダコニール1000	1000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月10日	アディオン乳剤	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月10日	ライメイフロアブル	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月23日	アタブロン乳剤	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月23日	アクタラ顆粒水和剤	3000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	10月23日	ダコニール1000	1000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	11月1日	フェニックス顆粒水和剤	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	11月1日	ウララDF	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	11月15日	ブレバソンフロアブル	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	11月15日	サフオイル乳剤	300	新冬越しカンラン(1)～(3)
	12月19日	アディオン乳剤	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	12月19日	ライメイフロアブル	2000	新冬越しカンラン(1)～(3)
	2月21日	ランマンフロアブル	2000	新冬越しカンラン(2)・(3)

全作共通 定植時 オルトラン粒剤

2g/株

株元散布

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ブロッコリー	4月18日	ノーモルト乳剤	2000	春ブロッコリー(1)
	4月18日	粘着くん	100	春ブロッコリー(1)
	4月28日	アディオン乳剤	2000	春ブロッコリー(1)
	4月28日	アミスター 20フロアブル	2000	春ブロッコリー(1)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春ブロッコリー(1)
	5月10日	粘着くん	100	春ブロッコリー(1)
	5月24日	アディオン乳剤	2000	春ブロッコリー(1)
	9月6日	アディオン乳剤	2000	秋ブロッコリー(1)
	9月20日	ノーモルト乳剤	2000	秋ブロッコリー(1)
	9月20日	サフオイル乳剤	300	秋ブロッコリー(1)
	9月26日	ランネート45DF	1000	秋ブロッコリー(1)
	9月26日	アミスター 20フロアブル	2000	秋ブロッコリー(1)
	10月4日	トレボン乳剤	1000	秋ブロッコリー(1)～(4)
	10月4日	ライメイフロアブル	2000	秋ブロッコリー(1)～(4)
	10月11日	スピノエース顆粒水和剤	2500	秋ブロッコリー(1)～(4)

10月11日	アクタラ顆粒水和剤	3000	秋ブロッコリー(1)～(4)
10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋ブロッコリー(1)～(4)
10月21日	サフオイル乳剤	300	秋ブロッコリー(1)～(4)
11月1日	アニキ乳剤	1000	秋ブロッコリー(1)～(4)
11月1日	ウララDF	2000	秋ブロッコリー(1)～(4)
11月1日	ランマンフロアブル	2000	秋ブロッコリー(1)～(4)
11月8日	アディオン乳剤	2000	秋ブロッコリー(1)～(4)
10月4日	アタブロン乳剤	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月4日	ダコニール1000	1000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月10日	アディオン乳剤	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月10日	ライメイフロアブル	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月23日	アタブロン乳剤	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月23日	アクタラ顆粒水和剤	3000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
10月23日	ダコニール1000	1000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
11月1日	フェニックス顆粒水和剤	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
11月1日	ウララDF	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
11月15日	プレバソンフロアブル	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
11月15日	サフオイル乳剤	300	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
12月19日	アディオン乳剤	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
12月19日	ライメイフロアブル	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)
2月21日	ランマンフロアブル	2000	新冬越しブロッコリー(1)～(3)

全作共通		定植時	オルトラン粒剤	2g/株	株元散布
作 目	月 日	薬品名		倍率等	備 考
茎ブロッコリー	4月18日	ノーモルト乳剤		2000	茎ブロッコリー(1)
	4月18日	粘着くん		100	茎ブロッコリー(1)
	4月28日	アディオン乳剤		2000	茎ブロッコリー(1)
	5月10日	アニキ乳剤		2000	茎ブロッコリー(1)
	5月10日	粘着くん		100	茎ブロッコリー(1)
	5月24日	アディオン乳剤		2000	茎ブロッコリー(1)
	9月6日	アディオン乳剤		2000	茎ブロッコリー(2)
	9月20日	ノーモルト乳剤		2000	茎ブロッコリー(2)・(3)
	9月20日	サフオイル乳剤		300	茎ブロッコリー(2)・(3)
	10月4日	アディオン乳剤		2000	茎ブロッコリー(2)・(3)
	11月1日	アニキ乳剤		1000	茎ブロッコリー(2)・(3)
	11月1日	粘着くん		100	茎ブロッコリー(2)・(3)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
カリフラワー	9月11日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(2)
	9月26日	ランネット45DF	1000	カリフラワー(2)・(3)
	10月7日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(2)～(6)
	10月4日	アタブロン乳剤	2000	カリフラワー(7)
	10月4日	ダコニール1000	1000	カリフラワー(7)
	10月10日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(7)
	10月10日	ライメイフロアブル	2000	カリフラワー(7)
	10月21日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(2)～(6)
	10月23日	アタブロン乳剤	2000	カリフラワー(7)
	10月23日	アクタラ顆粒水和剤	3000	カリフラワー(7)
	10月23日	ダコニール1000	1000	カリフラワー(7)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	カリフラワー(2)～(6)
	11月1日	粘着くん	100	カリフラワー(2)～(6)
	11月1日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カリフラワー(7)
	11月1日	ウララDF	2000	カリフラワー(7)
	11月8日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(2)～(6)
	11月15日	プレバソンフロアブル	2000	カリフラワー(7)
	11月15日	サフオイル乳剤	300	カリフラワー(7)
	12月19日	アディオン乳剤	2000	カリフラワー(7)
	12月19日	ライメイフロアブル	2000	カリフラワー(7)
	2月21日	ランマンフロアブル	2000	カリフラワー(7)

全作共通 定植時 アクタラ粒剤5			0.5g/株	株元散布
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ホウレンソウ	4月12日	粘着くん	100	春ホウレンソウ(1)～(3)
	4月12日	バシレックス水和剤	1000	春ホウレンソウ(1)～(3)
	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春ホウレンソウ(4)～(6)
	4月28日	アフファーム乳剤	1000	春ホウレンソウ(4)～(6)
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	春ホウレンソウ(4)～(6)
	9月27日	アフファーム乳剤	2000	秋ホウレンソウ(1)～(4)
	9月27日	アクタラ顆粒水和剤	2000	秋ホウレンソウ(1)～(4)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋ホウレンソウ(1)～(4)
	10月23日	アフファーム乳剤	2000	秋ホウレンソウ(5)～(8)
	10月23日	サフオイル乳剤	300	秋ホウレンソウ(5)～(8)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	秋ホウレンソウ(6)～(9)
	11月1日	粘着くん	100	秋ホウレンソウ(6)～(9)
	1月23日	粘着くん	100	新ハウスホウレンソウ(1)～(3)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	新ハウスホウレンソウ(1)～(3)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
中ネギ	7月25日	ハチハチ乳剤	1000	中ネギ(1)

	7月25日	ベンコゼブ水和剤	600	中ネギ(1)
	8月8日	アフーム乳剤	1000	中ネギ(1)
	8月8日	アミスター 20フロアブル	2000	中ネギ(1)
	8月26日	アグロスリン乳剤	1000	中ネギ(2)～(4)
	8月26日	アミスター 20フロアブル	2000	中ネギ(2)～(4)
	9月9日	バシレックス水和剤	500	中ネギ(2)
	9月9日	アディオン乳剤	2000	中ネギ(3)・(4)
	9月9日	バレードフロアブル	2000	中ネギ(3)・(4)
	9月13日	アフームエクセラ顆粒水和剤	1000	中ネギ(3)・(4)
	9月26日	アグロスリン乳剤	2000	中ネギ(4)
	9月26日	ドージャスフロアブル	1000	中ネギ(4)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	中ネギ(4)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	中ネギ(4)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	中ネギ(3)・(4)
	11月1日	粘着くん	100	中ネギ(3)・(4)
全作共通 定植直前		トリフミン水和剤	50	定植直前に根部浸漬処理
全作共通 定植時		アドマイヤー 1粒剤	4kg/10a	植穴土壌混和

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
本畑ネギ, リーキ	9月11日	カスケード乳剤	4000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	9月11日	ベンコゼブ水和剤	600	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	9月13日	アフームエクセラ顆粒水和剤	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	9月26日	アグロスリン乳剤	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	9月26日	ドージャスフロアブル	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	10月10日	ハチハチ乳剤	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	10月17日	アフームエクセラ顆粒水和剤	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	10月17日	アミスター 20フロアブル	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月1日	アニキ乳剤	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月1日	ウララ DF	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月1日	ランマンフロアブル	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月1日	バリダシン液剤5	500	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月13日	アグロスリン乳剤	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	11月13日	アミスターオブティフロアブル	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	12月19日	スピノエース顆粒水和剤	2500	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	12月19日	アミスター 20フロアブル	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	1月24日	ウララ DF	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	1月24日	ランマンフロアブル	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	2月7日	アミスター 20フロアブル	1000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
	2月28日	ランマンフロアブル	2000	新本畑ネギ(1)・(2), 新リーキ
全作共通 定植直前		トリフミン水和剤	50	定植直前に根部浸漬処理
全作共通 定植時		アドマイヤー 1粒剤	4kg/10a	定植時に施用
土寄せ時		オリゼメート粒剤	6kg/10a	株元散布

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
レタス	4月12日	アニキ乳剤	1000	春レタス(1)
	4月25日	アディオン乳剤	2000	春レタス(1)～(5)
	4月25日	アミスター 20フロアブル	2000	春レタス(1)～(5)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春レタス(2)～(5)
	5月10日	粘着くん	100	春レタス(2)～(5)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春レタス(2)～(5)
	5月24日	マッチ乳剤	2000	春レタス(2)～(5)
	5月24日	ウララ DF	2000	春レタス(2)～(5)
	8月30日	アクセルフロアブル	1000	秋レタス(1)
	8月30日	ライメイフロアブル	2000	秋レタス(1)
	9月13日	ラービフロアブル	1000	秋レタス(1)～(3)
	9月13日	アミスター 20フロアブル	2000	秋レタス(1)～(3)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋レタス(1)～(3)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	秋レタス(1)～(3)
	9月27日	ダントツ水溶剤	2000	秋レタス(1)～(3)
	10月4日	カスケード乳剤	4000	秋レタス(1)～(4)
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋レタス(2)～(4)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋レタス(3)・(4)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋レタス(3)・(4)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	秋レタス(3)・(4)
	11月1日	粘着くん	100	秋レタス(3)・(4)
	12月25日	ダントツ水溶剤	2000	新ハウスレタス(1)
	1月23日	粘着くん	100	新ハウスレタス(1)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	新ハウスレタス(1)
	2月21日	粘着くん	100	新ハウスレタス(1)
	2月21日	バシレックス水和剤	500	新ハウスレタス(1)
リーフレタス	4月25日	アディオン乳剤	2000	春リーフレタス(1)
	4月25日	アミスター 20フロアブル	2000	春リーフレタス(1)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春リーフレタス(1)
	5月10日	粘着くん	100	春リーフレタス(1)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春リーフレタス(1)
	9月13日	ラービフロアブル	1000	秋リーフレタス(1)・(2)
	9月13日	アミスター 20フロアブル	2000	秋リーフレタス(1)・(2)

	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋リーフレタス(1)・(2)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	秋リーフレタス(1)・(2)
	9月27日	ダントツ水溶剤	2000	秋リーフレタス(1)・(2)
	10月4日	カスケード乳剤	4000	秋リーフレタス(1)～(3)
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋リーフレタス(1)～(3)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋リーフレタス(2)・(3)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋リーフレタス(2)・(3)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	秋リーフレタス(3)
	11月1日	粘着くん	100	秋リーフレタス(3)
	12月25日	ダントツ水溶剤	2000	ハウスリーフレタス(1)
	1月23日	粘着くん	100	ハウスリーフレタス(1)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	ハウスリーフレタス(1)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
サニーレタス	4月3日	ダントツ水溶剤	2000	春サニーレタス(1)
	4月3日	ランマンフロアブル	2000	春サニーレタス(1)
	4月12日	アニキ乳剤	1000	春サニーレタス(1)
	4月25日	アディオン乳剤	2000	春サニーレタス(2)
	4月25日	アミスター 20フロアブル	2000	春サニーレタス(2)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春サニーレタス(2)
	5月10日	粘着くん	100	春サニーレタス(2)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春サニーレタス(2)
	5月24日	マッチ乳剤	2000	春サニーレタス(2)
	5月24日	ウララDF	2000	春サニーレタス(2)
	9月13日	ラービフロアブル	1000	秋サニーレタス(1)・(2)
	9月13日	アミスター 20フロアブル	2000	秋サニーレタス(1)・(2)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋サニーレタス(1)・(2)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	秋サニーレタス(1)・(2)
	9月27日	ダントツ水溶剤	2000	秋サニーレタス(1)・(2)
	10月4日	カスケード乳剤	4000	秋サニーレタス(1)～(3)
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋サニーレタス(1)～(3)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋サニーレタス(2)・(3)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋サニーレタス(2)・(3)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	秋サニーレタス(3)
	11月1日	粘着くん	100	秋サニーレタス(3)
	12月25日	ダントツ水溶剤	2000	ハウスサニーレタス(1)
	1月23日	粘着くん	100	ハウスサニーレタス(1)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	ハウスサニーレタス(1)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ロメインレタス	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	
	10月21日	サフオイル乳剤	300	
	11月1日	バシレックス水和剤	500	
	11月1日	粘着くん	100	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
サラダ菜	5月24日	マッチ乳剤	2000	サラダ菜(1)・(2)
	5月24日	ウララDF	2000	サラダ菜(1)・(2)
	6月13日	サフオイル乳剤	500	サラダ菜(2)
	6月13日	フェニックス顆粒水和剤	2000	サラダ菜(2)
	6月28日	アフーム乳剤	1000	サラダ菜(3)
	6月28日	ダントツ水溶剤	2000	サラダ菜(3)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	サラダ菜(5)・(6)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	サラダ菜(5)・(6)
	9月27日	ダントツ水溶剤	2000	サラダ菜(5)・(6)
	10月4日	カスケード乳剤	4000	サラダ菜(5)・(6)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	サラダ菜(5)・(6)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	サラダ菜(5)・(6)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ニラ	3月26日	ストロビーフロアブル	3000	ニラ(1)
	5月7日	モスピラン水溶剤	4000	ニラ(1)
	7月5日	ストロビーフロアブル	3000	ニラ(1)
	7月5日	モスピラン水溶剤	4000	ニラ(1)
	1月8日	ダントツ水溶剤	2000	ニラ(2)・(3)の一部
	1月8日	セイビアーフロアブル	2000	ニラ(2)・(3)の一部
	1月8日	トップジンM水和剤	1000	灌注 ニラ(2)・(3)の一部
	2月28日	ストロビーフロアブル	3000	ニラ(2)・(3)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ニンニク	3月8日	バリダシン液剤5	800	ニンニク(1)・(2)
	3月15日	Zボルドー	500	ニンニク(1)・(2)
	4月3日	ダコニール1000	1000	ニンニク(1)・(2)
	4月12日	アミスター 20フロアブル	2000	ニンニク(1)・(2)
	2月7日	アミスター 20フロアブル	2000	ニンニク(3)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ミズナ	3月12日	アニキ乳剤	1000	春ミズナ(1)

3月26日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春ミズナ(1)
3月26日	ライメイフロアブル	2000	春ミズナ(1)
4月3日	ダントツ水溶剤	2000	春ミズナ(1)
4月3日	ランマンフロアブル	2000	春ミズナ(1)
4月12日	アニキ乳剤	1000	春ミズナ(1)・(2)
4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春ミズナ(2)
4月28日	アフーム乳剤	1000	春ミズナ(2)
4月28日	ライメイフロアブル	2000	春ミズナ(2)
5月10日	アニキ乳剤	2000	春ミズナ(3)
5月10日	粘着くん	100	春ミズナ(3)
5月10日	ランマンフロアブル	2000	春ミズナ(3)

8月30日	アクセルフロアブル	1000	秋ミズナ(1)
8月30日	ライメイフロアブル	2000	秋ミズナ(1)
9月6日	アニキ乳剤	1000	秋ミズナ(1)・(2)
9月13日	マッチ乳剤	2000	秋ミズナ(1)～(3)
9月13日	ウララDF	4000	秋ミズナ(1)～(3)
9月13日	ライメイフロアブル	2000	秋ミズナ(1)～(3)
9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋ミズナ(1)～(3)
9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋ミズナ(1)～(3)
9月27日	ウララDF	4000	秋ミズナ(2)～(4)
9月27日	アクセルフロアブル	1000	秋ミズナ(2)～(4)
9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋ミズナ(2)～(4)
10月4日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋ミズナ(3)～(5)
10月4日	ブレバソンフロアブル	2000	秋ミズナ(3)～(5)
10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋ミズナ(5)
10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋ミズナ(5)・(6)
10月21日	サフオイル乳剤	300	秋ミズナ(5)・(6)

12月25日	ダントツ水溶剤	2000	ハウスミズナ(1)
1月23日	粘着くん	100	ハウスミズナ(1)
1月23日	バシレックス水和剤	500	ハウスミズナ(1)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
コマツナ	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春コマツナ(1)
	4月28日	アフーム乳剤	1000	春コマツナ(1)
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	春コマツナ(1)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春コマツナ(1)・(2)
	5月10日	粘着くん	100	春コマツナ(1)・(2)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春コマツナ(1)・(2)
	5月24日	マッチ乳剤	2000	春コマツナ(2)・(3)
	5月24日	ウララDF	4000	春コマツナ(2)・(3)
	6月6日	サフオイル乳剤	300	春コマツナ(3)
	6月6日	バシレックス水和剤	500	春コマツナ(3)
	6月13日	サフオイル乳剤	500	春コマツナ(4)
	6月13日	フェニックス顆粒水和剤	2000	春コマツナ(4)
	8月30日	アクセルフロアブル	1000	秋コマツナ(1)・(2)
	8月30日	ライメイフロアブル	2000	秋コマツナ(1)・(2)
	9月6日	アニキ乳剤	1000	秋コマツナ(1)～(3)
	9月13日	マッチ乳剤	2000	秋コマツナ(1)～(3)
	9月13日	ウララDF	4000	秋コマツナ(1)～(3)
	9月13日	ライメイフロアブル	2000	秋コマツナ(1)～(3)
	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋コマツナ(3)・(4)
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋コマツナ(3)・(4)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	秋コマツナ(4)・(5)
	9月27日	アクタラ顆粒水和剤	2000	秋コマツナ(4)・(5)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋コマツナ(4)・(5)
	10月4日	アクセルフロアブル	1000	秋コマツナ(4)～(6)
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋コマツナ(4)～(6)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋コマツナ(5)～(8)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋コマツナ(5)～(8)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	秋コマツナ(7)～(9)
	11月1日	粘着くん	100	秋コマツナ(7)～(9)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
サトイモ	7月8日	トレボン乳剤	1000	サトイモ(1)～(7)
	9月3日	ラービン乳剤	750	サトイモ(1)～(7)
	9月3日	コロマイフロアブル	1000	サトイモ(1)～(7)
	9月24日	トレボン乳剤	1000	サトイモ(1)～(7)
	9月24日	コテツフロアブル	2000	サトイモ(1)～(7)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
コカブ	9月20日	バシレックス水和剤	500	コカブ(1)・(2)
	9月20日	サフオイル乳剤	300	コカブ(1)・(2)
	9月26日	バシレックス水和剤	500	コカブ(1)～(3)
	9月26日	サフオイル乳剤	300	コカブ(1)～(3)
	10月4日	バシレックス水和剤	500	コカブ(1)～(4)
	10月4日	粘着くん	100	コカブ(1)～(4)
	10月11日	バシレックス水和剤	500	コカブ(2)～(5)
	10月11日	粘着くん	100	コカブ(2)～(5)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	コカブ(4)～(6)
	11月1日	粘着くん	100	コカブ(4)～(6)

作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
カブ	10月4日	アフーム乳剤	2000	カブ(1)～(3)
	10月4日	サフオイル乳剤	300	カブ(1)～(3)
	10月4日	ライメイフロアブル	2000	カブ(1)～(3)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カブ(1)～(3)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	カブ(1)～(3)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	カブ(1)～(3)
	11月1日	粘着くん	100	カブ(1)～(3)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ラディッシュ	9月20日	バシレックス水和剤	500	ラディッシュ(1)・(2)
	9月20日	サフオイル乳剤	300	ラディッシュ(1)・(2)
	9月26日	バシレックス水和剤	500	ラディッシュ(1)～(3)
	9月26日	サフオイル乳剤	300	ラディッシュ(1)～(3)
	10月4日	バシレックス水和剤	500	ラディッシュ(3)・(4)
	10月4日	粘着くん	100	ラディッシュ(3)・(4)
	10月11日	バシレックス水和剤	500	ラディッシュ(4)～(6)
	10月11日	粘着くん	100	ラディッシュ(4)～(6)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	ラディッシュ(6)
	11月1日	粘着くん	100	ラディッシュ(6)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ダイコン	5月10日	アニキ乳剤	2000	春ダイコン(1)～(10)
	5月10日	粘着くん	100	春ダイコン(1)～(10)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春ダイコン(1)～(10)
	5月24日	バシレックス水和剤	500	春ダイコン(1)～(10)
	5月24日	ウララDF	2000	春ダイコン(1)～(10)
	6月6日	サフオイル乳剤	300	春ダイコン(2)・(3)・(5)・(6)・(8)～(10)
	6月6日	バシレックス水和剤	500	春ダイコン(2)・(3)・(5)・(6)・(8)～(10)
	9月13日	マッチ乳剤	3000	秋ダイコン(1)～(4)
	9月13日	ウララDF	2000	秋ダイコン(1)～(4)
	9月13日	ライメイフロアブル	4000	秋ダイコン(1)～(4)
	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋ダイコン(1)～(8)
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋ダイコン(1)～(8)
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋ダイコン(1)～(8)
	9月27日	アクタラ顆粒水和剤	2000	秋ダイコン(1)～(8)
	9月27日	アフーム乳剤	2000	秋ダイコン(1)～(8)
	10月4日	アクセルフロアブル	1000	秋ダイコン(1)～(12)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋ダイコン(5)・(9)～(17)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋ダイコン(5)・(9)～(17)
	10月23日	アフーム乳剤	2000	秋ダイコン(18)～(21)
	10月23日	サフオイル乳剤	300	秋ダイコン(18)～(21)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	秋ダイコン(1)・(5)
	11月1日	粘着くん	100	秋ダイコン(7)～(21)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	秋ダイコン(7)～(21)
	11月1日	粘着くん	100	秋ダイコン(7)～(21)
	12月25日	ダントツ水溶剤	2000	新ハウスダイコン(1)・(2)
	1月23日	粘着くん	100	新ハウスダイコン(1)・(2)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	新ハウスダイコン(1)・(2)
全作共通 播種前 ダイアジノン粒剤5			6kg/10a	全面土壌混和
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ニンジン	9月26日	ランネート45DF	1000	秋ニンジン(1)・(2)
	10月21日	ランネート45DF	1000	秋ニンジン(3)
	10月21日	キノンドーフロアブル	600	秋ニンジン(3)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
バレイショ	5月10日	スミチオン乳剤	2000	春バレイショ(1)～(6)
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春バレイショ(1)～(6)
全作共通 植え付け前 セイビアーフロアブル20			200	種いも瞬間浸漬
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
セルリー	9月26日	ランネート45DF	1000	セルリー(3)～(5)
	10月18日	アフーム乳剤	2000	セルリー(3)～(5)
	10月18日	サフオイル乳剤	300	セルリー(3)～(5)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	セルリー(3)～(5)
	11月1日	粘着くん	100	セルリー(3)～(5)
	11月13日	カスケード乳剤	4000	セルリー(3)～(5)
	11月13日	粘着くん	100	セルリー(3)～(5)
	12月19日	バシレックス水和剤	500	セルリー(3)～(5)
	12月19日	サフオイル乳剤	300	セルリー(3)～(5)
	12月27日	アフーム乳剤	2000	セルリー(4)・(5)
	12月27日	ダントツ水溶剤	2000	セルリー(4)・(5)
	1月23日	粘着くん	100	セルリー(4)・(5)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	セルリー(4)・(5)
	2月7日	粘着くん	100	セルリー(4)・(5)
	2月7日	バシレックス水和剤	500	セルリー(4)・(5)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ゴボウ	5月24日	サフオイル乳剤	300	ゴボウ(1)～(3)

5月24日	バシレックス水和剤	500	ゴボウ(1)～(3)
6月6日	サフオイル乳剤	300	ゴボウ(1)～(3)
6月6日	バシレックス水和剤	500	ゴボウ(1)～(3)

全作共通 播種時 アドマイヤー 1粒剤				4kg/10a	土壌混和
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
カラシナ	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カラシナ(2)	
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	カラシナ(2)	
	10月4日	バシレックス水和剤	500	カラシナ(2)・(3)	
	10月4日	粘着くん	100	カラシナ(2)・(3)	
	10月11日	バシレックス水和剤	500	カラシナ(2)・(3)	
	10月11日	粘着くん	100	カラシナ(2)・(3)	
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カラシナ(2)～(4)	
	10月21日	サフオイル乳剤	300	カラシナ(2)～(4)	
	11月1日	バシレックス水和剤	500	カラシナ(2)～(4)	
	11月1日	粘着くん	100	カラシナ(2)～(4)	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
ワサビナ	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	ワサビナ(1)	
	4月28日	アフーム乳剤	1000	ワサビナ(1)	
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	ワサビナ(1)	
	5月10日	アニキ乳剤	2000	ワサビナ(2)	
	5月10日	粘着くん	100	ワサビナ(2)	
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	ワサビナ(2)	
	5月24日	マッチ乳剤	2000	ワサビナ(2)	
	5月24日	ウララ DF	4000	ワサビナ(2)	
	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	ワサビナ(3)	
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	ワサビナ(3)	
	10月4日	バシレックス水和剤	500	ワサビナ(3)・(4)	
	10月4日	粘着くん	100	ワサビナ(3)・(4)	
	10月11日	バシレックス水和剤	500	ワサビナ(3)・(4)	
	10月11日	粘着くん	100	ワサビナ(3)・(4)	
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	ワサビナ(3)・(4)	
	10月21日	サフオイル乳剤	300	ワサビナ(3)・(4)	
	11月1日	バシレックス水和剤	500	ワサビナ(3)・(4)	
	11月1日	粘着くん	100	ワサビナ(3)・(4)	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
カツオナ	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	カツオナ(1)	
	4月28日	アフーム乳剤	1000	カツオナ(1)	
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	カツオナ(1)	
	5月10日	アニキ乳剤	2000	カツオナ(2)	
	5月10日	粘着くん	100	カツオナ(2)	
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	カツオナ(2)	
	5月24日	マッチ乳剤	2000	カツオナ(2)	
	5月24日	ウララ DF	4000	カツオナ(2)	
	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カツオナ(3)	
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	カツオナ(3)	
	10月4日	ブレバソフフロアブル	2000	カツオナ(3)・(4)	
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	カツオナ(4)・(5)	
	10月21日	サフオイル乳剤	300	カツオナ(4)・(5)	
	11月1日	バシレックス水和剤	500	カツオナ(4)・(5)	
	11月1日	粘着くん	100	カツオナ(4)・(5)	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
チンゲンサイ	3月12日	アニキ乳剤	1000	春チンゲンサイ(1)	
	3月26日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春チンゲンサイ(1)	
	3月26日	ライメイフロアブル	2000	春チンゲンサイ(1)	
	4月3日	ダントツ水溶剤	2000	春チンゲンサイ(1)	
	4月3日	ランマンフロアブル	2000	春チンゲンサイ(1)	
	4月12日	アニキ乳剤	1000	春チンゲンサイ(1)・(2)	
	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	春チンゲンサイ(2)・(3)	
	4月28日	アフーム乳剤	1000	春チンゲンサイ(2)・(3)	
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	春チンゲンサイ(2)・(3)	
	5月10日	アニキ乳剤	2000	春チンゲンサイ(3)・(4)	
	5月10日	粘着くん	100	春チンゲンサイ(3)・(4)	
	5月10日	ランマンフロアブル	2000	春チンゲンサイ(3)・(4)	
	8月30日	アクセルフロアブル	1000	秋チンゲンサイ(1)	
	8月30日	ライメイフロアブル	2000	秋チンゲンサイ(1)	
	9月6日	アニキ乳剤	1000	秋チンゲンサイ(1)・(2)	
	9月13日	マッチ乳剤	2000	秋チンゲンサイ(1)～(3)	
	9月13日	ウララ DF	4000	秋チンゲンサイ(1)～(3)	
	9月13日	ライメイフロアブル	2000	秋チンゲンサイ(1)～(3)	
	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋チンゲンサイ(1)～(3)	
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋チンゲンサイ(1)～(3)	
	9月27日	ウララ DF	4000	秋チンゲンサイ(1)～(4)	
	9月27日	アクセルフロアブル	1000	秋チンゲンサイ(1)～(4)	
	9月27日	ライメイフロアブル	2000	秋チンゲンサイ(1)～(4)	
	10月4日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	秋チンゲンサイ(2)～(5)	
	10月4日	ブレバソフフロアブル	2000	秋チンゲンサイ(2)～(5)	
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	秋チンゲンサイ(5)	
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	秋チンゲンサイ(3)～(6)	

	10月21日	サフオイル乳剤	300	秋チンゲンサイ(3)～(6)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	秋チンゲンサイ(5)・(6)
	11月1日	粘着くん	100	秋チンゲンサイ(5)・(6)
	12月25日	ダントツ水溶剤	2000	ハウスチンゲンサイ(1)
	1月23日	粘着くん	100	ハウスチンゲンサイ(1)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	ハウスチンゲンサイ(1)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ハクサイ	9月20日	フェニックス顆粒水和剤	2000	ハクサイ(1)・(2)
	9月20日	アルバリン顆粒水溶剤	2000	ハクサイ(1)・(2)
	9月26日	ランネート45DF	1000	ハクサイ(1)・(2)
	9月26日	アミスター 20フロアブル	2000	ハクサイ(1)・(2)
	10月4日	トレボン乳剤	1000	ハクサイ(1)～(5)
	10月4日	アタッキン水和剤	1000	ハクサイ(1)～(5)
	10月7日	アディオン乳剤	2000	ハクサイ(1)～(5)
	10月7日	アミスター 20フロアブル	2000	ハクサイ(1)～(6)
	10月11日	スピノエース顆粒水和剤	2500	ハクサイ(1)～(6)
	10月11日	アクタラ顆粒水和剤	3000	ハクサイ(1)～(6)
	10月11日	レーバスフロアブル	2000	ハクサイ(1)～(6)
	10月17日	ランネート45DF	1000	ハクサイ(1)～(5)
	10月17日	ストロビーフロアブル	3000	ハクサイ(1)～(5)
	10月17日	バリダシン液剤5	500	ハクサイ(1)～(5)
	10月21日	アディオン乳剤	2000	ハクサイ(1)～(6)
	10月21日	アミスター 20フロアブル	2000	ハクサイ(1)～(6)
	11月1日	アニキ乳剤	1000	ハクサイ(1)～(6)
	11月1日	ウララDF	2000	ハクサイ(1)～(6)
	11月1日	ランマンフロアブル	2000	ハクサイ(1)～(6)
	11月1日	バリダシン液剤5	500	ハクサイ(1)～(6)
	11月5日	アディオン乳剤	2000	ハクサイ(2)～(6)
	11月5日	レーバスフロアブル	2000	ハクサイ(2)～(6)
	11月8日	アクセルフロアブル	2000	ハクサイ(1)・(2)
	11月8日	サフオイル乳剤	500	ハクサイ(1)・(2)
	11月8日	ストロビーフロアブル	3000	ハクサイ(1)・(2)
	11月13日	トレボン乳剤	1000	ハクサイ(1)～(6)
	11月13日	アミスターオブティフロアブル	1000	ハクサイ(1)～(6)
	全作共通 定植時	オルトラン粒剤	2g/株	株元散布
	全作共通 定植時	オリゼメート粒剤	6kg/10a	全面土壌混和
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
シュンギク	10月11日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	10月11日	粘着くん	100	シュンギク(2)
	10月18日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	10月18日	サフオイル乳剤	300	シュンギク(2)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	11月1日	粘着くん	100	シュンギク(2)
	11月15日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	11月15日	サフオイル乳剤	300	シュンギク(2)
	12月19日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	12月19日	サフオイル乳剤	300	シュンギク(2)
	12月27日	アフーム乳剤	2000	シュンギク(2)
	12月27日	ダントツ水溶剤	2000	シュンギク(2)
	1月23日	粘着くん	100	シュンギク(2)
	1月23日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
	2月7日	粘着くん	100	シュンギク(2)
	2月7日	バシレックス水和剤	500	シュンギク(2)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
タカナ	10月4日	アルバリン顆粒水和剤	2000	タカナ(1)・(2)
	10月4日	ブレバソソフロアブル	2000	タカナ(1)・(2)
	10月11日	ダントツ水溶剤	2000	タカナ(3)
	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	タカナ(1)～(4)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	タカナ(1)～(4)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	タカナ(1)～(4)
	11月1日	粘着くん	100	タカナ(1)～(4)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
ノザワナ	10月21日	フェニックス顆粒水和剤	2000	ノザワナ(1)・(2)
	10月21日	サフオイル乳剤	300	ノザワナ(1)・(2)
	11月1日	バシレックス水和剤	500	ノザワナ(1)・(2)
	11月1日	粘着くん	100	ノザワナ(1)・(2)
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備 考
シロナ	3月12日	アニキ乳剤	1000	シロナ(1)
	3月26日	アクタラ顆粒水和剤	2000	シロナ(1)
	3月26日	ライメイフロアブル	2000	シロナ(1)
	4月12日	粘着くん	100	シロナ(1)～(3)
	4月12日	バシレックス水和剤	1000	シロナ(1)～(3)
	4月28日	アクタラ顆粒水和剤	2000	シロナ(4)・(5)
	4月28日	アフーム乳剤	1000	シロナ(4)・(5)
	4月28日	ライメイフロアブル	2000	シロナ(4)・(5)
	5月10日	アニキ乳剤	2000	シロナ(4)・(5)
	5月10日	粘着くん	100	シロナ(4)・(5)

	5月10日	ランマンフロアブル	2000	シロナ(4)・(5)	
	5月24日	マッチ乳剤	2000	シロナ(4)・(5)	
	5月24日	ウララDF	4000	シロナ(4)・(5)	
	6月13日	サフオイル乳剤	500	シロナ(5)	
	6月13日	フェニックス顆粒水和剤	2000	シロナ(5)	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
ズッキーニ	5月24日	サフオイル乳剤	300		
	5月24日	バシレックス水和剤	500		
	6月6日	サフオイル乳剤	300		
	6月6日	バシレックス水和剤	500		
	6月28日	カスケード乳剤	2000		
	6月28日	アミスター 20フロアブル	2000		
定植時 アドマイヤー 1粒剤			2g/株	植穴土壌混和	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
イチゴ	4月26日	ウララDF	2000	イチゴ本圃	
	4月26日	ジャストミート顆粒水和剤	2000	イチゴ本圃	
令和元年	5月24日	カスケード乳剤	4000	イチゴ本圃	
	5月24日	バレードフロアブル	2000	イチゴ本圃	
	5月24日	マイトコーネフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	7月19日	ウララDF	2000	イチゴ本圃	
	7月19日	バレードフロアブル	2000	イチゴ本圃	
	7月30日	リドミルゴールドMZ	1000	(灌注) イチゴ苗	
	8月7日	オーソサイド水和剤	800	イチゴ苗	
	8月19日	アントラコール顆粒水和剤	500	イチゴ苗	
	8月19日	リドミルゴールドMZ	1000	イチゴ苗	
	8月27日	ゲッター水和剤	1000	イチゴ苗	
令和2年	8月27日	レーバフロアブル	2000	イチゴ苗	
	9月3日	ランマンフロアブル	1000	(灌注) イチゴ苗	
	9月11日	キノンドーフロアブル	500	イチゴ苗	
	9月11日	サンヨール乳剤	500	イチゴ苗	
	9月17日	モベントフロアブル	500	イチゴ苗	
	9月25日	セイビアフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	9月25日	マッチ乳剤	1000	イチゴ本圃	
	10月4日	ゲッター水和剤	1000	イチゴ本圃	
	10月4日	サンマイトフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	10月17日	モレスタン水和剤	3000	イチゴ本圃	
	10月17日	ラービンフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	11月20日	ポリオキシシンAL水溶剤	5000	イチゴ本圃	
	11月20日	粘着くん	100	イチゴ本圃	
	12月3日	サンヨール乳剤	500	イチゴ本圃	
	12月3日	ダニメツフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	12月4日	アフーム乳剤	2000	イチゴ本圃	
	12月4日	セイビアフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	12月27日	ニッソラン水和剤2000	2000	イチゴ本圃	
	12月27日	粘着くん	100	イチゴ本圃	
	1月22日	ジャストミート顆粒水和剤	2000	イチゴ本圃	
	1月22日	カネマイトフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	2月26日	ストロビーフロアブル	3000	イチゴ本圃	
	3月17日	マイトコーネフロアブル	1000	イチゴ本圃	
	3月17日	シグナムWDG	2000	イチゴ本圃	
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
トマト温室	5月24日	アフエットフロアブル	2000		
	5月24日	コルト顆粒水和剤	4000		
	5月31日	ダコニール1000	1000		
	5月31日	チェス顆粒水和剤	5000		
	6月17日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	6月17日	ウララDF	2000		
	8月23日	コルト顆粒水和剤	4000	秋作	
	8月27日	チェス顆粒水和剤	5000		
	8月27日	サフオイル	300		
	9月2日	モスピラン水溶剤	2000		
	9月2日	ゲッター水和剤	1500		
	10月4日	ウララDF	2000		
	10月4日	シグナムWDG	2000		
	10月18日	チェス顆粒水和剤	5000		
	10月18日	ゲッター水和剤	1000		
	11月25日	クリアザールフロアブル	2000		
	11月25日	ベンレート水和剤	200		
	12月27日	ダコニール1000	1000		
	12月27日	アタブロン乳剤	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
ピーマン	6月13日	リゾレックス水和剤	1000	灌注	
	7月17日	アフエットフロアブル	2000		
	8月22日	アタブロン乳剤	2000		
	8月22日	シグナムWDG	2000		
	8月22日	モベントフロアブル	2000		

	9月2日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	9月2日	ダニトロンフロアブル	2000		
	9月10日	スターマイトフロアブル	2000		
	9月10日	アフェットフロアブル	2000		
	9月25日	フェニックス顆粒水和剤	2000		
	9月25日	アフェットフロアブル	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
ナス	4月22日	アドマイヤー粒剤	2 g /株		
	7月3日	モレスタン水和剤	2000		
	7月17日	アフェットフロアブル	2000		
	8月22日	アタブロン乳剤	2000		
	8月22日	シグナムWDG	2000		
	8月22日	モベントフロアブル	2000		
	9月2日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	9月2日	ダニトロンフロアブル	2000		
	9月10日	スターマイトフロアブル	2000		
	9月10日	アフェットフロアブル	2000		
	9月25日	フェニックス顆粒水和剤	2000		
	9月25日	アフェットフロアブル	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
キュウリ (温室)	5月24日	ベルコート水和剤	2000		
	6月11日	カスケード乳剤	2000		
	6月11日	テーク水和剤	600		
	6月17日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	6月17日	ウララDF	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
スイカ	4月1日	アディオソ乳剤	2000		
	4月3日	スミチオン乳剤	1000		
	6月11日	カスケード乳剤	2000		
	6月17日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	6月25日	アントラコール顆粒水和剤	500		
	6月25日	アタブロン乳剤	2000		
	7月3日	モレスタン水和剤	2000		
	7月17日	アフェットフロアブル	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
カボチャ	6月11日	カスケード乳剤	2000		
	6月11日	テーク水和剤	600		
	6月17日	アミスターオブティフロアブル	1000		
	7月3日	モレスタン水和剤	2000		
	7月17日	アフェットフロアブル	2000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
メロン	4月1日	アディオソ乳剤	2000		
	4月3日	スミチオン乳剤	1000		
	4月4日	ベストガード粒剤	2g/株		
	4月17日	ロブラール水和剤	1000		
	4月26日	モスピラン水溶剤	8000		
	4月26日	ストロビーフロアブル	2000		
	5月5日	エルサン乳剤	1000		
	5月5日	ビシロックフロアブル	1000		
	5月27日	サンマイトフロアブル	1000		
	5月27日	ストロビーフロアブル	1000		
	5月29日	トレボン乳剤	1000		
	6月11日	カスケード乳剤	2000		
	6月11日	テーク水和剤	600		
	6月17日	ウララDF	2000		
	6月17日	アミスターオブティフロアブル	1000		
作 目	月 日	薬品名	倍率等	備	考
タマネギ	4月3日	ドーシャスフロアブル	1000		
	4月3日	ジェイエース水溶剤	1500		
	4月17日	ビシロックフロアブル	1000		
	4月17日	ジャストミート顆粒水和剤	2000		
	4月17日	ディアナSC	2500		
令和元年	5月5日	エルサン乳剤	1000		
	5月5日	ビシロックフロアブル	1000		
	5月24日	ディアナSC	2500		
	5月24日	ビシロックフロアブル	1000		
令和2年	8月22日	バスアミド微粒剤	2kg /1a	苗床	
	1月22日	ドーシャスフロアブル	1000		
	2月13日	ランマンフロアブル	2000		
	2月28日	リドミルゴールドMZ	1000		
	2月28日	バリダシン液剤5	500		
	3月12日	ジャストミート顆粒水和剤	2000		

第3表 除草剤防除歴 2019 年度

令和元年4月～令和2年3月

No	月 日	薬品名	使用量 (ml)	散布 (作目と場所)	備考
1	2月14日	バスアミド粒剤	1kg	西2 ネギ苗床	
1	3月7日	バスタ	180	西5, ハウス西4, 5	
2	3月8日	ゴーゴーサン乳剤	300	西5 バレイショ萌芽前処理	
3	3月20日	バスアミド粒剤	4kg	ハウス4 ネギ苗床	
4	3月26日	ゲザンフロアブル	90	ハウス5 トウモロコシ畦間	
5	3月26日	エイトアップ	90	ハウス1周辺	
6	3月27日	バスタ	90	西5周辺	
7	3月27日	エイトアップ	180	ハウス2周辺	
8	4月5日	ゲザンフロアブル	90	ハウス2 トウモロコシ畦間	
9	4月11日	バスタ	360	西2周辺	
10	4月12日	ゴーゴーサン乳剤	200	西2 サトイモ萌芽前処理	
11	4月12日	バスタ	360	南1 エダマメ畦間	
12	5月10日	バスタ	540	南2畦間	
13	5月30日	バスタ	540	南2畦間	
14	6月5日	トレファノサイド乳剤	160	南2 サツマイモ畦間	
15	6月13日	バスタ	180	南2畦間	
16	6月24日	トレファノサイド乳剤	60	南2 サツマイモ畦間	
17	6月25日	バスタ	40	南1畦間	
18	7月8日	バスタ	90	南1畦間	
19	7月12日	バスタ	180	ハウス1畦間	
20	7月19日	ゴーゴーサン乳剤	60	ハウス2 ニラ畦間	
21	7月24日	バスタ	90	南1畦間	
22	8月2日	バスタ	40	南3畦間	
23	8月5日	トレファノサイド乳剤	30	南3畦間	
24	8月9日	ゴーゴーサン乳剤	150	西5 本畑ネギ	
25	8月9日	エイトアップ	180	ハウス3～5内	
26	8月13日	バスタ	40	ハウス2 ニラ畦間	
27	8月21日	ゴーゴーサン乳剤	10	ハウス5 トウモロコシ植え穴, 畦間	
28	8月21日	エイトアップ	360	ハウス3～5周辺	
29	8月22日	バスタ	180	西5 本畑ネギ	
30	8月26日	バスタ	90	南1 中ネギ畦間	
31	8月29日	ゴーゴーサン乳剤	10	ハウス5 トウモロコシ植え穴, 畦間	
32	9月3日	バスタ	270	西4, ハウス西4畦間	
33	9月4日	トレファノサイド乳剤	60	西4畦間	
34	9月6日	ゴーゴーサン乳剤	10	ハウス5 トウモロコシ植え穴, 畦間	
35	9月6日	トレファノサイド乳剤	100	西4, 南1畦間	
36	9月13日	バスタ	90	ハウス3, 南1畦間	
37	9月13日	エイトアップ	270	ハウス1～5周辺, 西5フェンス脇	
38	9月18日	ゴーゴーサン乳剤	210	西3 バレイショ	
39	9月25日	バスタ	270	ハウス4, 5畦間	
40	9月27日	バスタ	90	西4 ハクサイ畦間	
41	10月4日	バスタ	90	南3 カンラン, ブロッコリー畦間	
42	10月21日	ゴーゴーサン乳剤	50	西2 ニンニク植え穴, 畦間	
43	11月15日	バスタ	90	南1 ホウレンソウ畦間	

第4表 令和元年度における野菜・花卉の販売量

作 目	品 種	面積 (a)	収量 (kg)	売払金額 (円)
イチゴ	紅ほっぺ・ゆめのか	4.0	779.1	1,346,797
イチゴ	冷凍	—	91.5	152,350
インゲンマメ	つるなしモロッコ	0.5	44.6	49,255
エダマメ	宝石 他	11.1	1762.0	439,771
エンドウ	ツタンカーメン	0.3	23.9	24,526
オクラ	グリーンソード	1.5	419.4	210,593
カブ	聖護院大蕪	1.5	516.7	75,947
カボチャ	エビス・隼人・利休	4.5	627.4	92,935
カラシナ	うまから菜	0.4	38.2	19,466
カリフラワー	スノークラウン	1.6	343.2	96,995
カンショ	ベニアズマ	22.8	1829.4	194,202
カンラン	グリーンボール・彩峰	8.2	2025.1	236,562
キュウリ	Vシャイン	0.5	268.5	81,865
キュウリ (温室)	Vシャイン	1.0	454.2	183,211
キンウリ	金俵	1.6	42.6	17,160
クウシンサイ		1.0	229.1	104,380
コカブ	耐病ひかり	0.6	82.3	36,244
コマツナ (露地、ハウス)	夏楽天	2.3	432.7	198,900
コマツナ (水耕)	夏楽天	0.9	4525.5	202,677
ササゲ	清流	1.0	46.8	24,147
サツマイモ (芋ほり)			2449本	612,250
サトイモ	エグイモ・石川早生	9.1	924.6	329,804
サラダ菜	サラダ菜	1.2	71.2	29,430
シイタケ			16.2	16,340
シソ			19.6	22,019
シュンギク	大葉	3.0	538.7	296,035
シロウリ			39.9	10,388
シロナ	シロナ	0.5	123.5	51,165
スイートコーン	カクテル・未来	9.7	946本	123,156
スイートコーン	カクテル・未来		756.25	364,757
スイカ	夏武輝・秀山	4.2	890	179,469
ズッキーニ	ダイナー	0.5	135.6	42,790
セルリー	コーネル	3.0	507.0	112,476
その他野菜	ルッコラ・オカヒジキ・	0.6	362.2	186,372
ソラマメ	打越一寸	3.0	1.2	1,800
ターサイ	ターサイ	0.6	50.9	24,339
ダイコン	四月早生・耐病総太り	6.0	2864.7	304,004
タカナ	三池大葉	0.5	69.8	19,091
タマネギ (白)	ソニック・ターボ他	14.5	3805.2	693,860
タマネギ (赤)	狸々赤		403.0	97,658
タマネギ (苗)	ターボ	0.5	5843.0	40,970
チンゲンサイ (ハウス)	青武	0.4	34.4	8,500
チンゲンサイ (露地)	青武	2.4	273.6	85,686
ツルムラサキ	ツルムラサキ	0.5	253.9	112,726
トウガン	長とうがん	1.4	178.7	17,750
トマト	桃太郎ファイト他	8.0	3911.3	1,633,726
ナス	長者・千両・くろわし	1.5	2040.3	506,363
ナバナ	摘菜花	1.2	83.4	84,724
ニラ	大葉	3.0	531.6	238,401
ニンジン	向陽2号 他	5.0	1183.2	302,211
ニンニク	ホワイト六片	3.4	32.8	39,169
ネギ	九条	17.0	1162.7	354,681
ネギ	赤ネギ	1.6	319.6	71,384
ハクサイ	黄ごころ・無双	2.9	801.4	105,085
ハダイコン	葉太郎	0.6	15.0	6,740
バレイショ	男爵・メークイン・アンデス・デジマ	11.9	1491.9	281,847
ピーマン・とうがらし類	京鈴・伏見甘長 他	1.5	881.7	366,937
ブロッコリー	ハイツ	4.0	286.4	166,245
ホウレンソウ (ハウス)	ミストラル	2.0	264.8	107,288
ホウレンソウ (露地)	ミストラル	6.6	812.5	394,662
ポップコーン	ポップコーン	0.6	25.2	49,900
マビキナ	人參・大根・かぶ	—	73.0	35,070
ミズナ	京みぞれ 他	2.3	431.4	124,486
ミツバ (水耕)	ミツバ	0.3	24.7	35,358
メロン (ハウス)	ラブコール・パバイヤ	2.5	194.5	113,548
モロヘイヤ	モロヘイヤ	0.5	233.2	119,916
ラディッシュ	コメット	0.6	24.9	22,077
レタス	シスコ	3.8	318.2	130,934
レタス	レッドウエーブ 他	2.9	294.0	113,860
落花生	おおまさり	3.6	85.8	125,956
花木苗	ペチュニア・パンジー 他	4.0	7087個	669,290
キク (露地、電照)	美林 他	3.0	3361本	164,340
合計		258.2 (a)	48908.5	13,935,016

(2) 水田部門

令和元年度は八浜5'号水田を乾田直播栽培とし、その他の圃場は稚苗移植栽培とした。

乾田直播栽培は5月13日にロータリーシーダーを用いて播種を行い、移植栽培は移植時期に合わせ5月中旬から2回に分けて播種を行い、いずれも生育は順調であった。また、本年は新たな取り組みとして試験的に「浮き楽栽培法」(広島県農業技術センター)を用い、岡山農場で使用する苗200枚の育苗を行った。岡山、八浜農場の田植え作業は例年通り1週間程度で完了し、その後の生育も順調であった。

水稻の作柄、作況指数は全国では514kg/10a [99]、岡山県南部では503kg/10a [98] であった。

岡山水田の栽培品種はヒノヒカリとヤシロモチを用いた。1号、2号、3号南側(約10a)水田は田植え機を用いてヒノヒカリの稚苗を移植した。苗代跡には学生実習によりヤシロモチを手植え移植した。3号北側水田は修士・卒業論文作成のため試験が行われ、多くの研究成果が報告された。八浜水田の栽培品種はヒノヒカリ、あきまさり、アケボノを用いた。乾田直播を行った5'号水田を除いた各圃場に、田植え機を用いて稚苗を移植した。

両農場の水稻収量はアケボノ464/10a、ヒノヒカリ486.7kg/10a、あきまさり455kg/10a、平均468kg/10aとなった。(出江嘉朗)

第1表 栽培面積

作目	栽培様式	品種	栽培圃場及び面積 (a)	合計 (a)
岡山水田				
水稻	移植	ヒノヒカリ	1号 (40)	40
	移植	ヒノヒカリ	2号 (64)	64
	移植	ヒノヒカリ	3号 (10)	10
	移植	ヤシロモチ	3号苗代 (5)	5
	試験研究用		3'号 (10, 研究室・未収穫)	
八浜水田				
水稻	移植	ヒノヒカリ	1-2号 (70)	70
	移植	アケボノ	1-1号 (100)	100
	移植	あきまさり	1-1' (111), 2号 (158), 6号 (54) 4号 (81), 5号 (64)	584
	直播	あきまさり	5'号 (70)	70

第2表 栽培の概要

作目	栽培様式	品種	播種・移植期	播種量 kg/10a	施肥量 (kg/10a)				収穫期
					種類	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
岡山水田									
水稻	移植	ヒノヒカリ	5/18・6/13	1.3	歩コート	10～11	7	7	10/16～10/18
		ヤシロモチ	7/2	1.3	歩コート	10～11	7	7	11/11
八浜水田									
水稻	移植	ヒノヒカリ	5/18・6/20	1.3	歩コート	10～11	7	7	10/18
	移植	アケボノ	5/18・6/20～	1.3	歩コート	10～11	7	7	11/14
	移植	あきまさり	5/18・6/20～	1.3	歩コート	10～11	7	7	10/24～11/13
	直播	あきまさり	5/13	6	歩コート	12	8	8	10/24

第3表 水稻防除作業内容

	薬品名	圃場名(号田)	使用量(/10a)	月/日
八浜水田				
除草剤	アピログロウ粒剤	1, 2, 3, 4, 5, 6	1kg	6/22 ~ 6/27
	マーシェット乳剤	5'	2L	5/14
	クリンチャー EW	5'	100ml	7/10
殺虫・殺菌剤	アドマイヤー顆粒	5'	24g	5/13
	ブラシンフロアブル	1, 2, 3, 4, 5, 5', 6	100cc	8/29
	アブロードロムダンモンカットエア	1, 2, 3, 4, 5', 6	120cc	8/29
	アルバリン	1, 2, 3, 4, 5, 5', 6	25g	8/29
岡山水田				
除草剤	アピログロウ粒剤	1, 2, 3	1kg	6/13, 6/27
殺虫・殺菌剤	ブラシンフロアブル	1, 2, 3	98cc	8/21
	アブロードロムダンモンカットエア	1, 2, 3	120cc	8/21
	アルバリン	1, 2, 3	25g	8/21

(3) 果樹部門

2019年の生産概要を第1表に、作目ごとの薬剤防除履歴および植物成長調節物質使用履歴を、第2表から第11表に示した。

1) モモ

生産量(5700kg)と収入金額(360万円)はともに前年の9割程度、栽培過程と果実品質の点ではほぼ平年作であった。

主力である4号園では半数の樹が定植後20年以上に達し、これらの老木では‘紅清水’、‘清水白桃’を中心に衰弱が顕著になってきている。各園ともにせん孔細菌病に潜在的に罹患している樹が多く、若齡樹であっても突発的な発病と急激な衰弱が見られる場合があり、栽培の不安定要因になっている。

2016年3月に1号園東側に定植した‘西王母’と‘恵白’は順調に生育しており、今年は1本あたり約100kgの果実を収穫することができた。導入当初の目的であった香港への輸出も実現し、現地でも好評を博した。

2) ブドウ

生産量は7300kg(前年比4%増)、収入金額は660万円(前年比8%増)で、全体的に見るとほぼ平年作であった。品種ごとに見ると、‘安芸クイーン’、‘巨峰’、‘オーロラブラック’は平年よりも果

実品質が良好であった。

‘シャインマスカット’は樹の拡大に伴い生産量が増加し、今年は1200kgを超えた。当農場の直売所で以前から人気の高い‘藤稔’も堅調で、この2品種でブドウ全体の収入の半分近い300万円を売り上げた。

現在の生産量は販売可能量の限界を超えてきており、今年も実際に、‘マスカット・ベリーA’200kgを生産調整のため廃棄し、晩生品種の‘ヒロハンプルグ’では、大半の果実が収穫遅れによって本来の風味を失い脱粒が顕著であった。

この販売における頭打ち状態を解消するための手段として、コンテナ冷蔵庫を利用した氷温貯蔵を10月中旬から一部品種で導入した。果実品質が良好なうちに収穫して販売可能期間を延長しようという試みであるが、貯蔵中の果実品質の変化・劣化の問題があるので、今後の有効活用に向けた知見・ノウハウの収集に努めたい。

3) その他の果樹

ブドウやモモとの労力配分を考慮して、カキでは、前年の剪定時に一定の割合で枝先の花芽を切除して着花数が少なくなるようにした。このため、今年の生産量は前年の2/3の約2000kgであった。

リンゴでは、‘ふじ’で労力配分のための着果数

の調節を行い、生産量を前年の7割に留めた。

量は凍害前の半分以下であった。

カンキツ類では前年の凍害の影響が残って樹勢が
低下した状態の樹が多く、ウンシュウミカンの生産

(近藤毅典, 酒井富美子, 山本昭)

第1表 2019年果樹部門生産概要

種類	品種	面積 (a)	販売数量 (kg)	収入金額 (円)
モモ	清水白桃	5.8	1,257	942,891
	あかつき	1.9	925	522,037
	紅清水	3.4	582	327,420
	白鳳	3.7	425	240,938
	日川白鳳	1.5	245	184,391
	川中島白桃	2.0	226	147,102
	恵白	0.8	398	324,706
	西王母	0.8	279	210,909
	ゴールドデンピーチ	2.2	521	347,442
	その他品種	7.3	474	288,914
	加工用モモ (全品種合計)		327	81,662
ブドウ	藤稔	5.3	1,335	1,267,079
	ピオーネ	4.6	821	600,863
	安芸クイーン	1.2	269	284,069
	巨峰	2.8	492	255,705
	翠峰	1.4	342	258,977
	オーロラブラック	1.5	184	216,711
	シャインマスカット	2.9	1,245	1,736,366
	瀬戸ジャイアンツ	2.2	700	618,106
	紫苑	1.4	265	324,424
	マスカットベリーA	2.4	518	190,924
	ヒロハンプルグ	1.4	376	196,387
	デラウェア	1.4	162	110,435
	アーリースチューベン	0.7	190	121,764
	キャンベルアーリー	0.3	53	37,415
	マスカット・オブ・アレキサンドリア	3.0	331	386,417
	グローコールマン	0.4	24	18,852
カキ	平核無	4.5	736	163,058
	西条	2.8	412	99,320
	富有	4.5	514	132,712
	松本早生富有	2.7	193	50,160
	その他品種	1.9	75	20,420
リンゴ	つがる	1.3	356	166,927
	ふじ	1.3	460	152,160
	その他品種	0.6	128	76,970
キウイフルーツ		7.9	1,912	526,030
ウンシュウミカン		2.6	482	144,610
レモン		1.1	65	29,600
ウメ		5.4	293	114,815
ビワ		4.3	375	163,714
スモモ		1.4	366	159,911
ブルーベリー		0.8	9	17,270
その他果樹				44,788
合計				1230万5371円

第2表 モモの薬剤防除履歴 (2019年)

月/日	薬 品 名	倍率等	備 考
3/5	石灰硫黄合剤	20	
3/25	コサイド3000	1000	
4/3	ベルコート水和剤	2000	
4/4	コンフューザーMM	202本/26.1a	
〃	スカシバコンL	112本/26.1a	
4/18	オンリーワンフロアブル	2000	
〃	アディオン乳剤	2000	
4/22	アグレプト液剤	1000	
〃	ダニトロンフロアブル	1000	一部のみ
5/3	ストロビードライフロアブル	2000	
〃	バリダシン液剤5	500	
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000	
5/15	フルーツセイバー	2000	
〃	スターナ水和剤	1000	
〃	ウララドライフロアブル	2000	
〃	バロックフロアブル	2000	一部のみ
5/15, 22, 29, 6/3, 5, 13, 17	フェニックスフロアブル	4000	袋掛け対象樹のみ
5/22	ジマンダイセン水和剤	600	
〃	ノーモルト乳剤	2000	
〃	バリダシン液剤5	500	
5/29, 6/3, 5, 13, 17	ストロビードライフロアブル	2000	袋掛け対象樹のみ
〃	マイコシールド水和剤	1500	袋掛け対象樹のみ
6/9, 11	ベルコート水和剤	1000	
〃	スターナ水和剤	1000	
〃	ダーズバンDF	3000	
〃	スターマイトフロアブル	2000	一部のみ
6/23	オンリーワンフロアブル	2000	一部のみ
〃	モスピラン顆粒水溶剤	4000	一部のみ
6/24	デランフロアブル	600	一部のみ
〃	バリダシン液剤5	500	一部のみ
〃	モスピラン顆粒水溶剤	4000	一部のみ
〃	マイトクリーンフロアブル	2000	一部のみ
8/2	アルバリン顆粒水溶剤	2000	一部のみ
〃	ダニゲッターフロアブル	2000	一部のみ
〃	スターナ水和剤	1000	一部のみ
8/30	ダイアジノン水和剤34	1000	一部のみ
9/13	バリダシン液剤5	500	
〃	スプラサイド水和剤	1500	
9/24	ic ボルドー 412	50	
10/10	ic ボルドー 412	50	
12/6	マシン油乳剤95	20	

第3表 ブドウ（雨よけハウス）の薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率
3/20	石灰硫黄合剤	7
〃	ベフラン液剤 25	250
4/23	アプロードフロアブル	1000
〃	サンマイト水和剤	1000
〃	ウララドライフロアブル	2000
5/9	スプラサイド水和剤	1500
5/31	ジマンダイセン水和剤	600
〃	ポリベリン水和剤	1000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
6/20, 21, 26, 28	オンリーワンフロアブル	2000
〃	スプラサイド水和剤	1500
〃	バロックフロアブル	2000
11/21, 22, 26, 12/10	スミチオン水和剤 40	800

第4表 ブドウ（ガラス室、ビニールハウス）の薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率
3/14	オマイト水和剤	1000
4/25	インダーフロアブル	8000
〃	アプロードフロアブル	1000
〃	ウララドライフロアブル	2000
5/10	ポリベリン水和剤	1000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
5/30	オンリーワンフロアブル	2000
〃	コテツフロアブル	2000
6/23	フルーツセイバー	1500
〃	ディアナ WDG	10000
〃	ダニサラバフロアブル	1000
11/22, 26, 12/13, 27	スミチオン水和剤 40	800

第5表 ブドウの植物成長調節剤使用履歴（2019年）

月/日	品 種 名	薬品名・濃度
4/29, 5/2, 5	デラウェア	ジベレリン100ppm+フルメット4ppm+ストレプトマイシン200ppm
5/4	シャインマスカット（鉄骨ハウス）	ストレプトマイシン200ppm
5/12	シャインマスカット（3号園）	ストレプトマイシン200ppm
5/14	オーロラブラック（南ガラス室）	ジベレリン16.6ppm+ストレプトマイシン200ppm
5/16	シャインマスカット（鉄骨ハウス）	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm
5/17	紫苑	ストレプトマイシン200ppm
5/21, 27	瀬戸ジャイアンツ（鉄骨ハウス）	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm
5/23	オーロラブラック（南ガラス室）	ジベレリン25ppm
5/24	巨峰	ジベレリン16.7ppm+フルメット0.5ppm+ストレプトマイシン200ppm
〃	ピオーネ（加工以外）	ジベレリン25ppm+ストレプトマイシン200ppm
5/25	安芸クイーン	ジベレリン12.5ppm+フルメット0.2ppm+ストレプトマイシン200ppm
5/27	藤稔	ジベレリン16.7ppm+フルメット0.5ppm+ストレプトマイシン200ppm
〃	ピオーネ（加工）	ジベレリン25ppm+ストレプトマイシン200ppm
〃	シャインマスカット（鉄骨ハウス）	ジベレリン25ppm
5/28	デラウェア	ジベレリン100ppm+硫酸マンガン0.5%
〃	シャインマスカット（3号園）	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm
〃	アーリースチューベン	ジベレリン100ppm
5/30	翠峰	ジベレリン20ppm+フルメット0.5ppm+ストレプトマイシン200ppm
6/2	紫苑	ジベレリン16.7ppm
6/3	巨峰, ピオーネ（加工以外）	ジベレリン25ppm
6/3, 7	瀬戸ジャイアンツ（鉄骨ハウス）	ジベレリン25ppm
6/4	安芸クイーン	ジベレリン12.5ppm
6/5	瀬戸ジャイアンツ（3号園）	ジベレリン25ppm+フルメット5ppm+ストレプトマイシン200ppm
〃	藤稔	ジベレリン25ppm
6/7	ピオーネ（加工）	ジベレリン25ppm+フルメット2.5ppm
6/8	シャインマスカット（3号園）	ジベレリン25ppm
6/10	マスカットベリーA	ジベレリン50ppm+フルメット2.5ppm
〃	紫苑	ジベレリン12.5ppm+フルメット5ppm
〃	ヒロハンプルグ	ジベレリン100ppm+フルメット5ppm
6/11	翠峰	ジベレリン25ppm
6/14	瀬戸ジャイアンツ（3号園）	ジベレリン25ppm

第6表 カキの薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率
3/14, 19	石灰硫黄合剤	7
4/25	ベルコート水和剤	1500
〃	オルトラン水和剤	1000
6/6	スコア顆粒水和剤	3000
〃	アーデントフロアブル	2000
8/1	ストロビードライフフロアブル	3000
〃	フェニックス顆粒水和剤	4000
〃	ダントツ水溶剤	4000
12/10	マシン油乳剤95	20

第7表 リンゴの薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍率等	備 考
3/12	石灰硫黄合剤	7	
4/16	ウララドライフロアブル	2000	
5/5	ポリベリン水和剤	1000	
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000	
〃	カーラフロアブル	2000	
6/25	ジマンダイセン水和剤	600	
〃	オリオン水和剤	1000	
〃	バロックフロアブル	2000	
7/10	ストッポール液剤	1000	一部のみ
12/25	マシン油乳剤95	20	

第8表 キウイフルーツの薬剤防除および植物成長調節剤使用履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍率等
3/1	石灰硫黄合剤	7倍
6/10	フルメット液剤	2.5ppm

第9表 カンキツ類の薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率	備 考
4/25	コルト顆粒水和剤	2000	
〃	バロックフロアブル	2000	

第10表 ウメの薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率
4/12	ベルクート水和剤	2000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
5/8	ストロビードライフロアブル	2000
〃	アルバリン顆粒水溶剤	2000
12/19	マシン油乳剤95	20

第11表 スモモの薬剤防除履歴（2019年）

月/日	薬 品 名	倍 率
3/5	石灰硫黄合剤	20
4/3	ベルクート水和剤	2000
〃	スカウトフロアブル	2000
4/25	ロブラール水和剤	1500
〃	ダイアジノン水和剤	1000
6/6	ベルクート水和剤	2000
〃	モスピラン顆粒水溶剤	2000
12/6	マシン油乳剤95	20

(4) 畜産部門

令和1年の飼育牛移動状況を第1表に示す。子牛生産頭数は、雌が18頭、雄が17頭の計35頭であった。

本年の販売総数は32頭で、うち子牛30頭、肥育牛2頭であった。

繁殖成績を第2表に示す。本年は、人工授精で37頭を受胎させることができたが、受精卵移植は未実施であった。今後も、牛の観察と飼養管理に気を配りながら、1頭でも多くの牛を受胎できるように努めたい。

子牛の販売成績を、第3表に示す。子牛出荷頭数は、去勢17頭、雌13頭の合計30頭であった。出荷日齢は、前年と比較して、去勢で5日、雌で4日長くなった。出荷体重は、前年と比較して、去勢は、2kg、雌は、1kg減った。価格は、前年より去勢は4千円安値で、雌2.4万円安値であった。本年の子牛の発育は、昨年と比較して、去勢、雌とも変りなかった。現在子牛市場で実施されている「岡山和牛推奨子牛」の表示販売では、当牧場の去勢牛3頭と、雌牛2頭が「おかやま四ツ星子牛」として販売された。今後も、「おかやま四ツ星子牛」として販売できるように、さらに飼養管理技術の向上に努めたい。

また、本年もコクシジウム症の発生はなかった。分娩前の「下痢5種混ワクチン」の接種を今後も継続し、下痢の発生を抑え、下痢が発生した場合にも早期発件・早期治療に努めたい。

枝肉販売成績を、第4表に示す。

令和1年における飼料作物の生産状況を第5表に示す。採草地での飼料作物の青草換算収量は408,917kgであり、10a当たりの平均収量は8,244kgであった。採草地と放牧草地の収量を合わせた総収量は575,197kgとなった。利用形態別による収量割合は、青刈り0%、乾草6.4%、サイレージ64.7%、放牧28.9%であった。

本年は、青刈りによる収穫は実施しなかった。乾草調製用の材料草として、K1号草地からイタリアンライグラスを収穫した。本年のイタリアンライグラスの乾草は、天候に恵まれず、K1号草地の1カ

所だけであったが、収穫物は、良好であった。

本年の、スーダングラスの乾草は、E号とK1号の2カ所から収穫した。

一昨年から、ロール・ベラーの導入により、サイレージ調整の作業が容易になり、短い期間で、収穫が可能になった。イタリアンライグラスは、好天の日が続けば半分をロール・サイレージに、残りを乾草するなど作業の幅が広がった。ロール・サイレージの導入当初は、圃場でラップ作業をしていたが、圃場の堅い草によってラップに穴があく事例が発生したため、牛舎前の広場にロールをすべて回収した後ラップすることに変更し、ロールに穴が開くことは激減したが、ロールを回収する作業に時間を要するので、量が多い時には、岡山農場からの応援により作業を行った。

本年は、春作として、A号、D号、E号、K2号、およびK3号草地にイタリアンライグラスを、夏作としてA号、D号、E号、K1号、K2号、およびK3号草地にスーダングラスを播種し収穫した。全部の草地で、春作・夏作の収穫ができ、ロール・サイレージの数が、503個収穫でき、昨年より、35個多かった。

本年も、イノシシ対策として牧場の外周に設置した防護用の金網の補修・点検を行ったが、インシシの侵入があり、金網の下を掘られたり、金網を曲げられたりした。今後も、点検・補修を徹底し、駆除班の協力を得ながら、イノシシ対策を進めてゆきたい。

本年は、ワルナスビの発生は、見られなかった、今後も、薬剤処理技術を粗飼料生産システムに組み入れて、少しでも多くの収穫が得られるようにしたい。

放牧草地では、今年もオナモミ、ワルナスビ、イグサ、セイタカアワダチソウなどの雑草がみられ、除草作業と除草剤散布を行った。今後も、継続して除草作業を行う予定である。

第1表 令和元年飼育移動状況

			雌				雄			合 計
			子牛	育成牛	繁殖牛	肥育牛	子牛	育成牛	肥育牛	
平成 30 年 1 月 1 日現在			12	1	40	0	8	0	0	61
期間移動	増	生産	9	－	－	－	10	－	－	19
		振替	－	0	1	2	－	－	－	3
	減	振替	0	1	2	－	－	－	－	3
		へい死	－	－	－	－	－	－	－	－
		売却	6	－	－	－	6	－	－	12
令和元年 6 月 30 日現在			15	0	39	2	12	0	0	68
期間移動	増	生産	9	－	－	－	7	－	0	16
		振替	－	2	－	2	－	－	－	4
	減	振替	2	－	2	－	－	－	－	4
		へい死	－	－	－	－	－	－	－	－
		売却	7	－	－	2	11	－	－	20
令和元年 12 月 31 日現在			15	2	37	2	8	0	0	64

第2表 令和元年人工授精・受精卵移植成績 (31.1.1 ~ 1.12.31)

				受精回数							
				1		2		3		4回以上	
				受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎
実施頭数	受胎頭数	受胎率 (%)									
人工授精	43	37	86.0	25	3	6	0	4	3	2	3
受精卵移植	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—

第3表 令和元年子牛販売実績

販売 年月日	耳 番 号	生年月日	性別	生後 日齢 (日)	体 重 (kg)	日 齢 体 重 (kg/日)	落札 価 格 (千円)	kg当り 単 価 (円)	母 番 号	父 牛 名 号
H31.1.18	P359	H30.3.29	雌	295	250	0.847	585	2,340	Y240	美津百合
	P361	H30.4.9	雌	284	280	0.986	614	2,193	Y244	茂晴花
	P363	H30.5.14	去	249	300	1.205	773	2,577	Y251	福増
H31.3.29	P364	H30.6.5	去	276	312	1.130	744	2,481	Y265	安福勝
	P366	H30.7.19	去	232	271	1.168	757	2,793	Y274	菊花国
	P367	H30.7.30	雌	221	257	1.163	581	2,261	Y266	百合勝安
H31.4.19	P365	H30.7.15	雌	278	254	0.914	582	2,291	Y273	福安照
	P368	H30.8.1	去	261	261	1.000	701	2,686	Y217	美津百合
	P369	H30.8.2	去	260	300	1.154	786	2,620	Y268	芳之国
	P370	H30.8.9	去	253	274	1.083	745	2,719	Y262	茂晴花
	P371	H30.8.13	雌	249	273	1.096	617	2,260	Y248	茂晴花
R1.6.7	P373	H30.9.13	雌	267	275	1.030	648	2,356	Y267	藤沢茂
R1.7.12	P375	H30.9.20	雌	295	265	0.898	614	2,317	Y259	福安照
	P376	H30.10.17	雌	268	254	0.948	636	2,504	Y254	美津百合
R1.8.23	P377	H30.12.10	雌	256	284	1.109	580	2,042	Y269	藤沢茂
	P378	H30.12.14	去	252	298	1.183	750	2,517	Y272	美津百合
	P379	H30.12.29	雌	237	241	1.017	481	1,996	Y271	勝忠福
	P380	H30.12.31	去	235	259	1.102	621	2,398	Y259	茂晴花
	P381	H31.1.1	去	234	240	1.026	577	2,404	Y247	芳之国
	P382	H31.1.6	雌	229	275	1.201	601	2,185	Y246	秋忠平
R1.10.4	P383	H31.1.30	去	247	282	1.142	662	2,348	Y276	光彦
	P384	H31.2.7	去	239	253	1.059	609	2,407	Y243	光彦
	P385	H31.2.14	去	232	272	1.172	656	2,412	Y231	秋忠平
R1.11.8	P386	H31.3.1	去	252	272	1.079	607	2,232	Y236	菊花国
	P387	H31.3.1	去	252	292	1.159	779	2,668	Y256	茂晴花
	P388	H31.3.4	去	249	307	1.233	714	2,326	Y270	福増
R1.12.6	P389	H31.3.6	雌	275	244	0.887	513	2,102	Y255	芳之国
	P390	H31.3.7	雌	274	277	1.011	575	2,076	Y260	芳之国
	P391	H31.3.17	去	264	300	1.136	700	2,333	Y238	美津百合
	P392	H31.3.19	去	262	267	1.019	650	2,434	Y242	芳之国
	平均	全頭	30	256	273	1.067	650	2,380		
		去勢	17	250	280	1.120	698	2,492		
		雌	13	264	264	1.000	587	2,224		

第4表 令和元年枝肉販売実績

と殺 年月日	耳 番 号	性別	水引枝肉 重量 (kg)	枝肉 規格	枝肉 単 価 (円/kg)	売上 金額 (千円)
R1.10.1	Y241	雌	332.8	C-1	900	299,720
R1.10.1	Y252	雌	381.4	C-1	1,000	381,800

第5表 令和1年 津高牧場飼料作物生産量

草地	面積 (a)	作物	利用形態別収量(kg)				放牧 延頭数	生草換算 収量(kg)	草地当たり収量(kg)	
			青刈	乾草	サイレージ	放牧			生草合計 収量	10a 当り 平均収量
A	100	イタリアンライグラス			12,449			37,347	98,319	9,832
		スーダングラス			20,324			60,972		
D 2	130	イタリアンライグラス			8,325			24,975	112,758	8,674
		スーダングラス			29,261			87,783		
E	76	イタリアンライグラス			4,700			14,100	48,325	6,359
		スーダングラス		4,340	4,175			34,225		
K 1	90	イタリアンライグラス		1,450				7,250	45,535	5,059
		スーダングラス		1,630	10,045			38,285		
K 2	60	イタリアンライグラス			7,083			21,249	59,889	9,982
		スーダングラス			12,880			38,640		
K 3	40	イタリアンライグラス			5,737			17,211	44,091	11,023
		スーダングラス			8,960			26,880		
計	496			7,420	123,939			408,917	408,917	8,244
B	65	混播牧草				15,960	399	15,960	15,960	2,455
C	120	混播牧草				29,480	737	29,480	29,480	2,457
D 1	20	混播牧草				2,880	72	2,880	2,880	1,440
F	104	混播牧草				25,560	639	25,560	25,560	2,458
G	112	混播牧草				31,600	790	31,600	31,600	2,821
H	47	混播牧草				3,800	95	3,800	3,800	809
I	185	混播牧草				57,000	1,425	57,000	57,000	3,081
計	653					166,280	4,157	166,280	166,280	2,546
合計	1149			7,420	123,939	166,280	4,157	575,197	575,197	5,006

利用形態別における生草換算収量 (kg)

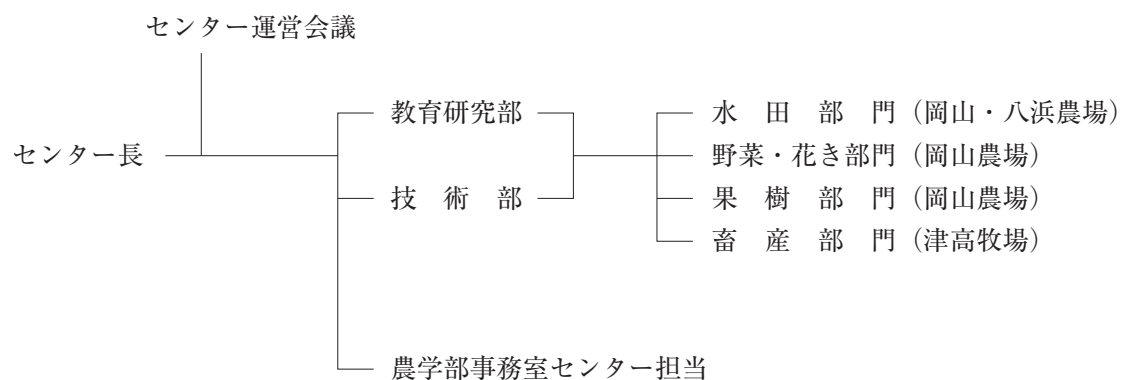
青刈	乾草	サイレージ	放牧	合計
0	37,100	371,817	166,280	575,197

* 乾草の生草換算は×5, サイレージは×3

2. 事 務 部

(1) 組 織

1) 機 構



2) 教職員数

区 分	教育職員 (一)	一般職員 (一)	計	平成31年4月1日現在		
				非常勤職員	合計	備考
		技術・事務職員				
センター長	1		1		1	教授
教 授	2		2		2	
准 教 授	1		1		1	
班 長		1	1		1	
副 班 長		1	1		1	
主任(技術部)		1	1		1	
技 術 職 員		4	4		4	
事 務 室 長		1	1		1	
主任(事務部)		1	1		1	
計	4	9	13		13	
事務補佐員				2	2	
技能補佐員					0	
技術補佐員				2	2	
計				4	4	
合 計	4	9	13	4	17	

3) 技術部部門別職員数

部 門	平成31年4月1日現在				備 考
	技術職員	非常勤職員	再雇用職員	合 計	
水田	1	0	1	2	
野菜・花き	2	2	0	4	
果樹	2	0	1	3	
畜産	2	0	0	2	
その他	0	0	0	0	
合 計	7	2	2	11	

(2) 予算及び収入

1) 予 算

平成31年度・令和元年度	
事 項	金 額 (円)
センター経費	45,959,600
事務室経費	142,000
半田山自然教育研究林経費	229,000
合 計	46,330,600

2) 収 入

平成31年度・令和元年度					(円)
区 分	野菜・花き	汎用耕地	果樹部門	山地畜産	合 計
果 菜 類	6,353,721	—	—	—	6,353,721
葉 菜 類	4,490,650	—	—	—	4,490,650
根 菜 類	2,158,586	—	—	—	2,158,586
花 卉 類	852,280	—	—	—	852,280
果 樹	—	—	12,223,731	—	12,223,731
米	—	8,643,147	—	—	8,643,147
牛	—	—	—	21,193,145	21,193,145
そ の 他	163,540	—	888,166	—	1,051,706
合 計	14,018,777	8,643,147	13,111,897	21,193,145	56,966,966

(3) 土地，建物面積

1) 土 地

農場等名	面 積 (㎡)	所 在 地
岡山農場	91,992	岡山市北区津島桑の木町1-62
八浜農場	89,536	玉野市東七区
津高牧場	312,484	岡山市北区日応寺
合 計	494,012	

(4) 備品類及び営繕工事

1) 備品類（1件50万円以上）

平成31年度・令和元年度

備品類名	数量（式）	金 額（円）
乾燥機	1	1,700,000
籾摺機	1	950,000

2) 営繕工事（1件50万円以上）

平成31年度・令和元年度

工事名	数量（式）	金 額（円）
八浜農場 危険物倉庫 屋根鋼材塗料及び改修工事	1	766,800

(5) 会議開催状況

1) 運営会議

開催月日	協 議 事 項	報 告 事 項
H31. 4.10	1. 2019年度ワーキンググループ一覧について 2. その他	1. 2019年度春季全国大学附属農場協議会について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議等について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. 緊急連絡網について 7. 食と健康の祭典おかやまについて 8. 会計検査院実地検査について 9. その他
R元. 5. 8	1. ホームカミングデイへの出展について 2. その他	1. ジュニア公開講座について 2. 技術部会議等について 3. フィールド科学センター利用申込状況について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. その他

開催月日	協 議 事 項	報 告 事 項
R元. 6. 5	1. フィールド科学センター概要について 2. その他	1. 令和元年度春季全国大学附属農場協議会について 2. 平成30年度予算（決算）について 3. 令和元年度センター実習について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター利用申込状況について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. オープンキャンパスでの販売について 8. おかやま秋の収穫祭地産地消マルシェ 2019について 9. その他
R元. 7.10	1. その他	1. 生産関係機関のブドウの低温貯蔵実証試験 協力手数料の徴収について 2. 夏季集中実習について 3. フィールド科学センター利用申込状況について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. フィールド科学センター電気設備点検（10/12）に伴う停電について 7. その他
R元. 8.13	1. 令和元年度予算配分（案）について 2. その他	1. 夏季集中実習について 2. 津高牧場和牛肥育牛舎改修工事について 3. 半田山復旧工事について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. その他

開催月日	協 議 事 項	報 告 事 項
R元. 9.11	1. その他	1. 夏休み後半集中実習について 2. 津高牧場水質検査について 3. フィールド科学センター利用申込状況について 4. 技術部会議等について 5. フィールド科学センター生産物販売について 6. フィールド科学センター予算執行状況について 7. 岡山大学ホームカミングデイ2019での農産物の販売について 8. その他
R元.10. 9	1. 2019年度四国・四国地域大学附属農場協議会の協議事項及び承合事項について 2. その他	1. 令和元年度秋季全国大学附属農場協議会について 2. 3, 4学期の実習について 3. 津高牧場蓄魂祭について 4. フィールド科学センター利用申込状況について 5. 技術部会議等について 6. フィールド科学センター生産物販売について 7. フィールド科学センター予算執行状況について 8. その他
R元.11. 6	1. 令和2年度収入見込額について 2. 令和2年度非常勤職員採用計画について 3. 令和元年度中国・四国地域大学附属農場協議会の承合事項について 4. その他	1. 海外短期農業体験実習について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議等について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. 幹事監査について 7. その他

開催月日	協 議 事 項	報 告 事 項
R 元.12. 4	1. 令和2年度公開講座及びジュニア公開講座について 2. 令和2年度実習計画について 3. 富永製作所ガソリン計量機の部品供給終了について 4. 令和元年度中国・四国地域大学附属農場協議会の承合事項について 5. その他	1. 海外短期農業体験実習について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. その他
R 2. 1.14	1. 令和2年度作付計画について 2. 令和元年度予算執行計画について 3. 令和2年度実習計画について 4. 令和2年度ジュニア公開講座について 5. 2019年度一農場一アピールについて 6. その他	1. 令和2年度以降の半田山の維持管理について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. その他
R 2. 2.18	1. 令和2年度センター併任教員について 2. 令和2年度センター専任教員のコースへの併任について 3. 令和2年度農学部部内委員会委員名簿について 4. センター報告第42号の原稿依頼について 5. その他	1. 令和2年度技術専門員の推薦について 2. フィールド科学センター利用申込状況について 3. 技術部会議について 4. フィールド科学センター生産物販売について 5. フィールド科学センター予算執行状況について 6. 技術部技術職員体験発表会について 7. その他

開催月日	協 議 事 項	報 告 事 項
R 2. 3.11	1. 令和2年度生産物販売日程について 2. その他	1. フィールド科学センター利用申込状況について 2. 技術部会議について 3. フィールド科学センター生産物販売について 4. フィールド科学センター予算執行状況について 5. その他

(6) 施設開放状況

施設利用目的, 時期	施設利用者名	期 間	団 体 数 等	参加人数	
実習 (7月12日～9月27日)	岡山理科大学	2 日	1 団体	教員 学生	1 名 8 名
実習 (9月19日)	岡山理科大学	1 日	1 団体	教員 学生	1 名 30名
実習 (10月18日)	岡山理科大学	1 日	1 団体	教員 学生	1 名 18名
実習 (10月18日)	岡山理科大学	1 日	1 団体	教員 学生	1 名 18名
実習 (8月6日)	くらしき作陽大学	1 日	1 団体	教員 学生	2 名 62名
農場見学 (5月24日)	岡山県立瀬戸南高等学校	1 日	1 団体	教員 生徒	1 名 5 名
農場見学 (6月27日)	岡山市立津島小学校	1 日	1 団体	保護者 生徒	4 名 12名
農場見学 (7月9日)	岡山理科大学専門学校	1 日	1 団体	教員 学生	1 名 7 名
農場見学 (8月21日)	広西チワン族自治区 農業科学院葡萄与 葡萄研究所	1 日	1 団体	その他	9 名
農場見学 (8月26日)	Ministry of agriculture, food industry and melioration of the Kyrgyz Republic	1 日	1 団体	その他	2 名
農場見学 (9月11日)	さくらサイエンス事業	1 日	1 団体	教員 学生	3 名 10名
農場見学 (9月12日)	一般社団法人 全国 農協観光協会	1 日	1 団体	その他	17名
農場見学 (10月3日)	津山東高校、西大寺高校	1 日	2 団体	その他	14名
農場見学 (10月9日)	岡山大学農学部「果 樹生産管理学1」	1 日	1 団体	教員 学生	1 名 64名
ジュニア公開講座 (6月15日～10月19日)		2 日		小学生	19名
公開講座 (4月11日～9月5日)	一般市民	21 日			29家族
いもほり (10月1日～10月24日)	<内訳> 保育園 幼稚園 小学校 親子クラブ こども園 その他		9 団体 5 団体 1 団体 1 2 団体 3 団体 3 団体		約2,000人